

令和4年8月26日開会

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

令和4年第3回

杵築市議会定例会（別冊）

（経営状況報告書）

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

経営状況報告書

報告第 2 4 号 一般財団法人杵築市総合振興センターの経営状況
について - 2 ページ -

報告第 2 5 号 公益社団法人杵築市地域活性化センターの経営状
況について - 21 ページ -

報告第 2 6 号 株式会社きっとすきの経営状況について
- 52 ページ -

令和4年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
事業計画書

令和4年度事業計画書

1. ふるさと便事業

ふるさと杵築にゆかりのある方々にお中元、お歳暮時季の年2回、「ふるさときつきの味と香り便り」として発送します。

商品は、「温泉うなぎ蒲焼」や「きつき紅茶」、「りゅうきゅう」等の杵築ブランド認定商品や「牛肉」や「はも」といった杵築の特産品を中心に年間1,000件の発送を目指します。

令和3年度実績 888件(令和2年度959件、令和元年度886件)

コース	令和3年7月	件数	令和3年12月	件数
Aコース	きつき茶水出し煎茶(5g×20)、きつき紅茶水出しブレンド(40g)、豊後國杵築かぼす味噌(150g)、アンコールコンフィチュール(140g)、かぼすジンジャーハニー(250g)、きつき抹茶シャリ羊羹(240g)、しいたけ玉ねぎドレッシング(200ml)	41	温州みかん(1kg)、きつき茶煎茶(60g)、きつき紅茶べにふうきティーバッグ(2g×12)、智恵美人純米酒(300ml)、アンコールコンフィチュール(140g)、味噌(900g)、三色まんじゅう(6個入り)、椎茸どんこ(50g)	76
Bコース	ハウスみかん(秀18～21玉)、きつきみかんストレートジュース(1,000ml×1)	150	ハウス美娘(2.5kg)	119
Cコース	ちえびじん純米酒(720ml×1)、ちえびじん純米吟醸山田錦(720ml×1)	14	ちえびじん純米酒(720ml×1)、ちえびじん純米吟醸山田錦(720ml×1)	20
Dコース	ぶりりゅうきゅう漬(80g×2)、真鯛りゅうきゅう漬(80g×2)、真あじりゅうきゅう漬(80g×2)、真さばりゅうきゅう漬(70g×2)、練りわさび(2.5g×8袋)	42	骨切りハモ切身(300g)、車海老(5尾)、もみじおろし(5g×4)、出し昆布(1枚)、かぼすポン酢(70ml)	55
Eコース	温泉うなぎ蒲焼(70g×3パック)、たれ・山椒(3袋)	103	温泉うなぎ蒲焼(70g×3パック)、たれ・山椒(3袋)	51
Fコース	豊後牛肩ロース(400g)	95	豊後牛肩ロース(400g)	122
計		445		443

2. 杵築ふるさと産業館事業

杵築ふるさと産業館は、平成8年に開館し、25年以上が経過しました。当館は、平成18年度から杵築市の指定管理者として管理運営を行っており、現在、令和2年度から令和4年度までを指定管理期間として受託しています。

当館は、杵築市の特産品を市内外のお客様に紹介・販売し、また、観光客の増加を目的とした観光情報の発信拠点の位置付けとして、これまで運営してきました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の発生以降、観光客をはじめとする人流の激減に伴い、大幅な減収が続いており、コロナの収束が見込めない中、今後の見通しも非常に厳しいものとなっています。

コロナの感染状況のほか経済情勢を見極めながら、杵築市や市観光協会等と連携し、収益確保に向けた取組みを展開していきます。

令和3年度各種実績(R4.3月末時点)

内 容		数	単位
観光バス	(日本)	114	台
	(中国・韓国他)	0	台
	乗車人数	1,958	人
レジ通過者数		8,052	人
受託販売業者数		66	業者
受託販売取扱商品数		725	品

令和3年度売上実績(R4.3月末時点)

内 容	売上金額(円)
ふるさと産業館総売上	15,085,125
(内受託販売による売上額)	11,471,135
(内仕入販売による売上額)	3,613,990

3. ケーブルテレビ事業

杵築市からケーブルネットワーク事業のうち、平成24年度から「番組制作業務委託」、平成29年度からは「伝送路の保守管理業務委託」を受け、この実績を評価いただき、平成31年度からは同事業の指定管理者として、今日に至っています。今後も市民への情報提供をさらに充実しながら、親しまれるケーブルテレビ事業の推進を図ります。

①積極的な地域情報の発信

自主番組制作においては、令和3年度に「おかえりの唄・PV」を制作し、市役所のプロモーションビデオとしても利用していただいています。また、全国のCATV初の試みとして、＜人気YouTuber＞の教育番組を毎日放送しています。今後も新たな業務やサービスの向上に取り組みます。

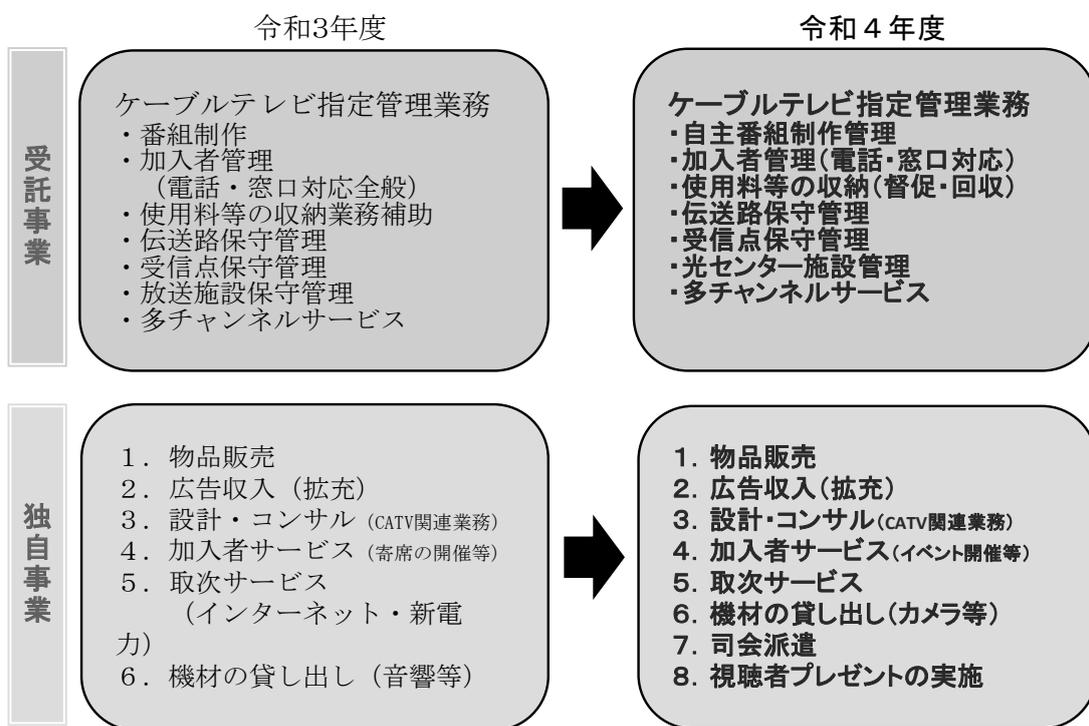
②技術力の向上

令和2年度からドローン操作資格講習に参加し、これまで4名が資格修得したほか、令和3年度中には、第2級CATV技術と第2級陸上特殊無線技士の資格を各1名が取得しました。今後も計画的に研修等に参加し、業務上必要な資格の取得、知識・技術力の向上に努めます。

③ケーブルテレビ事業部門の経営基盤強化の取組み

杵築市ケーブルネットワーク事業の指定管理を受けるにあたり、課題として収入構造の多角化があり、その方策として「広告収入増」に、一定の成果が得られました。しかしながら、広告主から新型コロナによる広告費削減などが提示されています。また、新電力おおいとの取次サービスによる収入も一定の成果は得られましたが、この事業にも新型コロナの影響が出てきています。

最後に、ケーブルテレビ事業部の運営全般については、徐々にではありますが、改革・改善を進めています。今後も杵築市ケーブルネットワーク事業者として、市民の公共インフラ、公共サービスの提供者であることを念頭に、継続して経営基盤強化・サービス向上を目指します。



令和4年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
予 算 書

令和4年度当初予算

(総則)

第1条 令和4年度当初予算は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第2条 収益的収入及び支出の予算額を次のとおり定める。

収 入		
第1款	事業収益	399,169 千円
第2款	事業外収益	331 千円
	計	399,500 千円

支 出		
第1款	事業原価	396,291 千円
第2款	管理費	3,208 千円
第3款	予備費	1 千円
	計	399,500 千円

令和4年度予算実施計画

[収 入]

(単位:千円)

款	項	金 額
1.事業収益		399,169
	1.ふるさと便事業収益	5,000
	2.杵築ふるさと産業館売上手数料	2,880
	3.杵築ふるさと産業館販売収益	5,040
	4.受託料	225,000
	5.家賃収入	1,248
	6.施設使用料	1
	7.ケーブルテレビ事業収益	160,000
2.事業外収益		331
	1.受取利息	1
	2.雑収益	70
	3.手数料	260
収 入 合 計		399,500

[支 出]

(単位:千円)

款	項	金 額
1.事業原価		396,291
	1.ふるさと便事業費	4,602
	2.杵築ふるさと産業館事業費	11,689
	3.ケーブルテレビ事業費	380,000
2.管理費		3,208
	1.一般管理費	2,790
	2.福利厚生費	55
	3.法定福利費	362
	4.雑損失	1
3.予備費		1
	1.予備費	1
支 出 合 計		399,500

令和4年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
予算に関する説明書

令和4年度当初予算説明書

[収 入]

(単位:千円)

款	項	目	予算額	節		前年度予算額
				区 分	金 額	
1.事業収益			399,169		399,169	276,609
	1.ふるさと便事業 収益		5,000		5,000	5,000
		1.売上	5,000	1.売上	5,000	5,000
	2.杵築ふるさと産業 館売上手数料		2,880		2,880	3,000
		1.売上手数料	2,880	1.売上手数料	2,880	3,000
	3.杵築ふるさと産業 館販売収益		5,040		5,040	6,360
		1.売上	5,040	1.売上	5,040	6,360
	4.受託料		225,000		225,000	225,000
		1.受託料	225,000	1.受託料	5,000	5,000
				(ふるさと産業館)		
				(ケーブルテレビ事業委託料)	220,000	220,000
				(ケーブルテレビ番組制作等)		
				(ケーブルテレビ伝送路保守管理)		
				(ケーブルテレビ受信点等定期点検)		
	5.家賃収入		1,248		1,248	1,248
		1.家賃収入	1,248	1.家賃収入	1,248	1,248
	6.施設使用料		1		1	1
		1.施設使用料	1	1.施設使用料	1	1
	7.ケーブルテレビ 事業収益		160,000		160,000	36,000
		1.売上	157,000	1.売上	157,000	33,000
		2.広告収入	3,000	2.広告収入	3,000	3,000
2.事業外収益			331		331	391
	1.受取利息		1		1	1
		1.受取利息	1	1.受取利息	1	1
	2.雑収益		70		70	90
		1.雑収益	70	1.雑収益	70	90
	3.手数料		260		260	300
		1.手数料	260	1.手数料	260	300
収 入 合 計			399,500		399,500	277,000

[支 出]

(単位:千円)

款	項	目	予算額	節		前年度予算額
				区 分	金 額	
1.事業原価			396,291		396,291	273,526
	1.ふるさと便事業費		4,602		4,602	4,602
		1.ふるさと便事業費		9.消耗品費	40	40
				12.印刷製本費	20	20
				15.通信運搬費	1,000	1,000
				17.手数料	12	12
				23.特産品購入費	3,500	3,500
				27.公課費	30	30
	2.杵築ふるさと産業館事業費		11,689		11,689	12,924
		1.杵築ふるさと産業館事業費		2.給料	6,280	6,400
				9.消耗品費	2	30
				10.燃料費	33	40
				13.光熱水費	1,344	1,224
				23.仕入	3,480	4,680
				27.公課費	550	550
	3.ケーブルテレビ事業費		380,000		380,000	256,000
		1.ケーブルテレビ事業費		2.給料	65,000	55,000
				6.報償費	0	100
				7.旅費	2,000	2,000
				9.消耗品費	1,200	900
				10.燃料費	500	250
				11.会議費	200	200
				12.印刷製本費	1,500	1,500
				14.修繕料	1,000	500
				15.通信運搬費	4,500	3,000
				16.広告料	2,500	1,500
				17.手数料	1,500	1,000
				18.保険料	1,500	1,500
				19.委託料	37,000	20,000
				20.使用料及び賃借料	20,000	18,000
				21.工事請負費	118,000	55,000
				24.備品購入費	3,500	3,000
				25.負担金補助及び交付金	0	0
				27.公課費	20,000	12,000
				29.雑費	1,500	1,500
				31.福利厚生費	1,500	800
				32.法定福利費	10,500	8,500
				33.番組制作費	5,000	1,000
				34.退職金積立費	1,000	500
				35.番組使用料	45,000	47,000
				36.水道光熱費	12,000	12,000
				37.仕入	12,000	7,000
				38.交際費	1,600	400
				39.予備費	10,000	1,850

[支 出]

(単位:千円)

款	項	目	予算額	節		前年度予算額
				区 分	金 額	
2.管理費			3,208		3,208	3,473
	1.一般管理費		2,790		2,790	3,072
		1. 経費		7.旅費	1	1
				8.交際費	50	60
				9.消耗品費	60	100
				11.会議費	10	10
				12.印刷製本費	20	1
				14.修繕料	100	200
				15.通信運搬費	90	100
				16.広告料	1	10
				17.手数料	90	80
				18.保険料	18	40
				19.委託料	769	769
				20.使用料及び賃借料	1,200	1,260
				21.工事請負費	1	1
				24.備品購入費	1	1
				25.負担金補助及び交付金	52	52
				27.公課費	55	100
				29.雑費	9	31
				30.減価償却費	263	256
	2.福利厚生費		55		55	80
		1. 福利厚生費		31.福利厚生費	55	80
	3.法定福利費		362		362	320
		1. 法定福利費		32.法定福利費	362	320
	4.雑損失		1		1	1
		1. 雑損失		1.雑損失	1	1
3.予備費			1		1	1
	1.予備費		1		1	1
		1. 予備費		30.予備費	1	1
支 出 合 計			399,500		399,500	277,000

令和3年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
事業報告書

当法人の実施事業は、①ふるさと便事業、②杵築ふるさと産業館事業、③ケーブルテレビ事業の3事業である。

3事業を合わせた法人全体の収支は、収入280,000,471円に対し、支出273,013,521円であり、6,986,950円(税引前)の利益となった。

①ふるさと便事業

年2回募集のうち、7月に445件、12月に443件の計888件を発送した。発送商品ごとの件数は、以下の表のとおりである。収入4,440,000円に対し、支出4,045,036円であり、394,964円の利益となった。

コース	R3.7月	件数	R3.12月	件数
Aコース	きつき茶水出し煎茶(5g×20)、きつき紅茶水出しブレンド(40g)、豊後國杵築かぼす味噌(150g)、アンコールコンフィチュール(140g)、かぼすジンジャーハニー(250g)、きつき抹茶シャリ羊羹(240g)、しいたけ玉ねぎドレッシング(200ml)	41	温州みかん(1kg)、きつき茶煎茶(60g)、きつき紅茶ベにふうきティーバッグ(2g×12)、智恵美人純米酒(300ml)、別府湾かちえび(50g)、味噌(900g)、城下町タルト(280g)、椎茸どんこ(50g)	76
Bコース	ハウスみかん(秀18～21玉)、きつきみかんストレートジュース(1,000ml×1)	150	ハウス美娘(2.5kg)	119
Cコース	ちえびじん純米酒(720ml×1)、ちえびじん純米吟醸山田錦(720ml×1)	14	ちえびじん純米酒(720ml×1)、ちえ	20
Dコース	ぶりりゅうきゅう漬(80g×2)、真鯛りゅうきゅう漬(80g×2)、真あじりゅうきゅう漬(80g×2)、真さばりゅうきゅう漬(70g×2)、練りわさび(2.5g×8袋)	42	骨切りハモ切身(300g)、車海老(5尾)	55
Eコース	温泉うなぎ蒲焼(70g×3パック)、たれ・山椒(3袋)	103	温泉うなぎ蒲焼(70g×3パック)、たれ	51
Fコース	豊後牛肩ロース(400g)	95	豊後牛肩ロース(400g)	122
計	—	445	—	443

②杵築ふるさと産業館事業

収入については、66業者及び個人からの商品を受託販売する売上手数料収益2,015,445円、直接仕入れによる販売収益3,613,990円、本館・別館・農畜産物加工センターでの5事業者分(食事処2業者、喫茶、市観光協会、(株)きつとすき)の家賃収入1,248,000円のほか、事業外収益291,639円、受託料5,000,000円を含め、計12,169,074円である。一方、支出については、ふるさと産業館事業費10,496,192円、管理費3,203,839円の計13,700,031円であり、1,530,957円の損失となった。

③ケーブルテレビ事業

収入については、受託料収益220,000,000円、ケーブルテレビ事業収益42,897,741円のほか、事業外収益493,656円を含め、計263,391,397円である。一方、支出については、ケーブルテレビ事業費255,268,454円であり、8,122,943円の利益となった。

令和3年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
財務諸表

貸借対照表

2022年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	87,753,904	96,225,591	△8,471,687
売掛金	7,891,105	20,957,985	△13,066,880
商品(棚卸資産)	1,696,657	3,459,975	△1,763,318
立替金	6,000	6,000	0
仮払金	1,288,200	0	1,288,200
前払費用	7,804,823	3,073,000	4,731,823
未収金	398,551	216,221	182,330
流動資産合計	106,839,240	123,938,772	△17,099,532
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定財産			
(3) その他の固定資産			
建物附属設備	854,011	854,011	0
機械装置	2,530,000	2,530,000	0
車両運搬具	1,226,200	1,226,200	0
備 品	9,198,324	9,198,324	0
一括償却資産	132,068	159,086	△27,018
減価償却累計額	△8,420,937	△5,506,990	△2,913,947
(有形固定資産)	5,519,666	8,460,631	△2,940,965
保証金	150,000	100,000	50,000
積立配当金	5,800	1,480	4,320
預託金	7,500	7,500	0
(投資その他の資産)	163,300	108,980	54,320
固定資産合計	5,682,966	8,569,611	△2,886,645
資産合計	112,522,206	132,508,383	△19,986,177
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	34,942,398	52,014,767	△17,072,369
未払金	5,873,976	4,503,467	1,370,509
未払法人税	35,500	0	35,500
未払消費税	1,972,000	4,924,900	△2,952,900
前受金	20,000	4,581,650	△4,561,650
預り金	2,381,924	2,843,141	△461,217
仮受金	0	32,000	△32,000
流動負債合計	45,225,798	68,899,925	△23,674,127
負債合計	45,225,798	68,899,925	△23,674,127
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	67,296,408	63,608,458	3,687,950
正味財産合計	67,296,408	63,608,458	3,687,950
負債及び正味財産合計	112,522,206	132,508,383	△19,986,177

正味財産増減計算書
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①ふるさと便事業収益	4,440,000	4,795,000	△ 355,000
②手数料収益	2,256,205	2,540,843	△ 284,638
③受託料収益	225,000,000	175,000,000	50,000,000
④杵築ふるさと産業館販売収益	3,613,990	3,763,348	△ 149,358
⑤ケーブル売上	39,541,361	195,542,414	△ 156,001,053
⑥ケーブル広告収入	3,356,380	2,486,000	870,380
経常収益合計	278,207,936	384,127,605	△ 105,919,669
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当(産業館)	6,053,260	6,193,200	△ 139,940
仕入(産業館)	5,713,824	6,287,769	△ 573,945
消耗品費(産業館)	57,172	76,070	△ 18,898
燃料費(産業館)	30,740	30,550	190
印刷製本費(産業館)	18,546	18,546	0
水道光熱費(産業館)	1,186,404	1,282,448	△ 96,044
通信運搬費(産業館)	914,970	946,045	△ 31,075
手数料(産業館)	10,912	11,329	△ 417
公課費(産業館)消費税	555,400	535,800	19,600
給料手当(ケーブル)	53,451,377	50,904,493	2,546,884
報償費(ケーブル)	0	54,000	△ 54,000
仕入(ケーブル)	6,366,925	10,098,487	△ 3,731,562
旅費(ケーブル)	1,659,600	1,390,310	269,290
消耗品費(ケーブル)	773,688	1,022,115	△ 248,427
燃料費(ケーブル)	374,860	250,132	124,728
会議費(ケーブル)	116,993	154,446	△ 37,453
印刷製本費(ケーブル)	1,714,944	1,859,425	△ 144,481
修繕費(ケーブル)	735,130	895,673	△ 160,543
通信運搬費(ケーブル)	4,192,416	2,344,245	1,848,171
広告料(ケーブル)	2,879,183	1,972,524	906,659
手数料(ケーブル)	1,062,723	1,076,575	△ 13,852
保険料(ケーブル)	1,047,970	1,129,350	△ 81,380
委託料(ケーブル)	25,688,145	20,519,368	5,168,777
使用料及び賃借料(ケーブル)	17,511,751	17,375,826	135,925
備品購入費(ケーブル)	1,378,158	4,140,332	△ 2,762,174
工事請負費(ケーブル)	42,823,200	132,458,794	△ 89,635,594
公課費(ケーブル)	17,046,938	10,709,581	6,337,357
雑費(ケーブル)	602,527	2,316,596	△ 1,714,069
福利厚生費(ケーブル)	1,679,786	1,189,616	490,170
法定福利費(ケーブル)	8,618,824	8,208,101	410,723
交際費(ケーブル)	1,981,572	905,923	1,075,649
番組制作費(ケーブル)	5,431,750	5,827,249	△ 395,499
退職金積立金(ケーブル)	519,000	562,000	△ 43,000
光熱水費(ケーブル)	11,445,236	14,791,225	△ 3,345,989
番組使用料(ケーブル)	43,288,841	46,978,454	△ 3,689,613
減価償却費(ケーブル)	2,876,917	2,109,023	767,894
②管理費			
法定福利費	359,399	312,667	46,732
福利厚生費	42,164	45,423	△ 3,259
通信運搬費	73,090	83,381	△ 10,291
接待交際費	35,100	23,100	12,000
修繕費	194,332	79,650	114,682
印刷製本費	0	0	0
使用料	1,204,968	1,444,251	△ 239,283
会議費	4,030	9,810	△ 5,780
広告宣伝費	0	0	0
委託料	768,020	768,020	0
負担金	47,000	52,000	△ 5,000
消耗品費	43,615	184,272	△ 140,657
租税公課	45,016	78,204	△ 33,188
保険料	37,640	18,260	19,380
減価償却費	262,150	303,906	△ 41,756
雑費	87,315	58,625	28,690
工事請負費	0	0	0
経常費用計	273,013,521	360,087,189	△ 87,073,668
当期経常増減額	5,194,415	24,040,416	△ 18,846,001

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	1,791,313	1,727,798	63,515
受取利息	1,222	2,264	△ 1,042
経常外収益合計	1,792,535	1,730,062	62,473
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額	1,792,535	1,730,062	62,473
前期損益修正益	0	3,022,668	△ 3,022,668
税引前当期一般正味財産増減額	6,986,950	25,770,478	△ 18,783,528
法人税、住民税及び事業税	3,299,000	0	0
当期一般正味財産増減額	3,687,950	25,770,478	22,082,528
一般正味財産期首残高	58,608,458	29,815,312	28,793,146
一般正味財産期末残高	62,296,408	58,608,458	3,687,950
II 指定正味財産増減の部			
当期一般正味財産増減額			
一般正味財産期首残高			
一般正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	62,296,408	58,608,458	3,687,950

財 産 目 録

2022年3月31日現在

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	603,889	
普通預金	1,932,143	
大分銀行杵築支店		
No.143275		
大分県農協杵築支店	236,801	
No.9514201		
大分県農協杵築支店	995,648	
No.2518		
大分銀行杵築支店	60,403,729	
No.7531284		
大分県農協杵築支店	63,928	
No.0105905		
大分県信用組合杵築支店	7,306,871	
No.0267247		
大分銀行杵築支店	0	
No.7551886		
豊和銀行杵築支店	10,000	
No.1113812		
郵便局	0	
No.1960021676		
定期預金	5,000,000	
大分県農協杵築支店		
No.568988		
定期預金	4,200,266	
大分銀行		
No.6011932		
定期預金	3,000,391	
大分県農協杵築支店		
No.09319592		
定期預金	1,000,102	
大分県信用組合杵築支店		
No.0736961		
大分県信用組合杵築支店	1,000,102	
No.0736953		
大分県信用組合杵築支店	1,000,017	
No.0742978		
豊和銀行杵築支店	1,000,017	
No.1045295		
売掛金	7,891,105	
棚卸資産	1,681,157	
貯蔵品	15,500	
立替金	6,000	
仮払金	1,288,200	
前払費用	7,804,823	
未収金	398,551	
流動資産合計		106,839,240
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
(2) 特定財産		
(3) その他の固定資産		
有形固定資産合計	5,519,666	
その他の資産	163,300	
固定資産合計		5,682,966
資産合計		112,522,206
II 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	34,942,398	
未払金	5,873,976	
未払法人税	35,500	
未払消費税	1,972,000	
前受金	20,000	
預り金	2,381,924	
仮受金		
流動負債合計		45,225,798
2. 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		45,225,798
正味財産		67,296,408

基本金明細書表

(単位:円)

区 分	出捐団体	出 捐 額	摘要
基 本 金	杵築市ほか	5, 000, 000	
計		5, 000, 000	

有形固定資産明細表

(単位:円)

資産種類	取得原価	当期増加額	当期減少額	期末残高 (A+B+C)	当期減価 償却額	減価償却 累計額	差引期末 残高	摘要
	A	B	C	D	E			
建物附属	854,011	0	0	854,011	170,802	441,238	412,773	旧農畜産加工センター内造作の買取費(産業館)
車両運搬具	695,080	0	0	695,080	6,950	674,226	20,854	公用車(産業館)
備品	189,000	0	0	189,000	0	188,999	1	コインロッカー(産業館)
備品	901,584	0	0	901,584	84,398	733,290	168,294	別館エアコン2台(産業館)
備品	691,200	0	0	691,200	138,240	426,240	264,960	カメラ・マイク(ケーブル)
備品	1,771,200	0	0	1,771,200	354,240	1,092,240	678,960	カメラ(ケーブル)
備品	2,592,000	0	0	2,592,000	518,400	1,598,400	993,600	防犯カメラ2台(ケーブル)
備品	1,306,800	0	0	1,306,800	261,360	805,860	500,940	ODAデータバックアップシステム(ケーブル)
備品	928,800	0	0	928,800	185,760	557,280	371,520	融着機(ケーブル)
備品	319,000	0	0	319,000	63,800	132,916	186,084	PC デザイン用(ケーブル)
一括償却資産	159,086	0	0	159,086	53,030	0	0	PC CAD用(ケーブル)
備品	296,120	0	0	296,120	71,068	189,516	106,604	PC 制作用(ケーブル)
備品	202,620	0	0	202,620	59,435	113,467	89,153	PC 制作リモート用(ケーブル)
機械装備	2,530,000	0	0	2,530,000	795,731	936,146	1,593,854	RMP装置(ケーブル)
車両運搬具	531,120	0	0	531,120	309,819	531,119	1	スズキアルト(ケーブル)
一括償却資産	198,102	0	0	198,102	66,034	0	132,068	制作用PC(ケーブル)
合計	14,165,723	0	0	14,165,723	3,139,067	8,420,937	5,519,666	

令和4年度事業計画書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

公益社団法人杵築市地域活性化センター

令和4年度事業計画書

・基本方針

杵築市の農業は、高齢農家及び兼業農家により支えられた農業であるが、今後も農業従事者の高齢化に伴い離農や規模縮小が予測されるなか、担い手不足が深刻化している。

地域住民は、地域農業の維持管理や農業経営及び将来的な発展、継続を憂慮し、また、地域全体の活性化や集落自体の限界化に不安を抱えており、支援は喫緊の課題である。

こうしたなか、これまで限られた中核農家は、農地所有者の土地保有の志向性の強さにより、農地集積が顕著に進展しないうまま推移し、更に一時的投資及び労働者不足等で育ち難い状況にあった。

この様な厳しい状況下で、農家の創意と工夫による経営改善の誘導をするものの、個人的な改善のみでは自ずと限界があった。

このため、この法人は、公益法人として不特定多数の者の利益の増進に寄与することを基本とし、長期展望に立った農地の流動化を推進するとともに、高性能機械や施設に対する投資の軽減、農作業の受委託等の支援、農業の分業化及び都市と農村との交流を実践し、もって効率的かつ生産性の高い農業及び地域活性化の実現を図ることを目的とする。そして杵築市農業の中核となる機関となり、魅力・やりがいのある農業を目指し、支援・振興を図ることとする。

その方策として、農地利用集積円滑化事業並びに、農地保全管理事業並びに、高次元農業推進事業並びに、担い手育成支援事業で構成する公益目的事業を実施する。

また、地域の景観並びに自然・生活環境を保全のため、過疎地域の集落等に対する生活道路維持管理、地域美化活動等の住民サービスの取り組みを、収益事業と位置づけ実施する。

実施する多岐にわたる事業は、その受益の大半が、小規模集落等の山間地の狭隘農地、分散農地など条件不利地域であり、作業効率等が極めて悪い。しかし、この法人は、農業福祉的役割を担いながら、地域農業の振興と過疎地域の支援を図ることにより、国土の保全及び自然・生活環境の保全、災害の防止等につながる。ひいては地域全体にその影響が及ぶ重要な役割を担っていると考え、使命として積極的に活動する。

1. 公益目的事業（令和4年度内訳）

一 農地利用集積円滑化事業一

農業生産の基盤となる優良農地を確保・有効活用のため、効率的かつ安定的な農業経営を営むものに対する農地の利用と集積の円滑化を図り、農村地域の秩序ある土地利用に努める。

農地中間管理事業の推進に関する法律の一部改正による農地バンク統合一体化に伴い、農地利用集積円滑化団体として新たな貸付業務などは行えないため、農地バンク事業への権利及び義務の継承を行うとともに、引き続き地域の農地の利用調整役を担い中間管理機構への集積に協力し、面的な農地利用の再編成に努めていく。地域農業経営サポーター機構でも、担い手不在地域及び農地相談の大半を占める条件不利地域等では、連携員を中心とした農地の集積を目指し、農地の荒廃化抑制等に努める。

取り扱う事業別では、本年末が農地の利用期間満了となる農地所有者代理事業3件、農地売買等事業1件は借り手が高齢の方もあるため、今後の意向等を年度当初より情報収集し、中間管理機構への移行・誘導に向け取り組む。

農地の利用調整（地域農業経営サポーター機構活動分含む）

農地中間管理機構への移行・誘導 計4件 2.11ha

4件 2.11ha 更新 農地所有者代理事業及び農地売買等事業R4.12.31終了分及びR5.3.31終了分の相対対応後→中間管理機構が農家間の貸借をマッチング

一 農地保全管理事業（農作業受託業務）一

農作業受託業務は、近年の病害虫の発生や米価下落の影響で離農速度と耕作放棄地の一段の拡大が懸念され、農作業受託量が軒並み減少する懸念がある。このため積極的な営業活動により前年受託量の維持を図るとともに、地域農業経営サポート機構として、すでに作業受託を請け負う集落営農組織を中心に連携強化を図りつつ、それ以外の組織は情報の提供・收拾を行い、連携及び農作業受託への足掛かりを築いていく。

また、前年導入したフレールモア・ウイングモアに、本年にはハンマーナイフモアの導入を予定し、畦畔・転作田及び耕作放棄地での除草作業の体制が整備される。これにより圃場・畦畔管理に資するため、同一圃場での除草から耕起までを年数回受託するパック商品の開発を検討する。農薬散布ドローンは、水田農薬散布の作業体系の検証を行うほか、他品目への散布や農薬散布作業以外の有効活用も模索していく。

一 農作業受託支援計画（面積基準）一

種別	前年度実績 見込み (ha)	受託等計画												備考			
		面積 (ha)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
水稲準備作業	13.11	16.10			→												荒田耕起、荒水取り、植代掻き
畦塗り	14921m	18000m		→													
田植え	22.12	23.20			→												除草散布5ha、肥料散布5.5ha
水稲収穫	26.86	31.80							→								予約16ha、通常12.8ha、湿2ha、飼1ha
農薬散布(麦含む)	292.13	313.00		→				→									①100ha、②200ha、麦13ha
転作田等除草	1.94	3.50					→										7月～7月、8月～7月、刈払機(615h)
その他農作業支援	1.12	5.00					→										転作田耕起、P.D.深耕(7月)・溝掘
土壌改良材散布	21.00	20.00															7月7月 200袋
堆肥散布	47.07	60.67															配達・散布1900袋(うち日出作業200袋)
森林組合委託業務	9件	5件															樹枝払い、ネット張り、植栽作業
林道豊後高田大田線外除草	30000㎡	30000㎡															豊後高田山香線、外3路線
竹林再生事業	3件	5件															

※農作業受託合計(面積要件のみ) 473.27ha(前実績見込比111.3%)

一 育苗計画

高次元農業推進事業の水稲苗は、近年の病害虫被害や、米価の下落より食用米苗の供給量は年々減少傾向にある一方、集落営農組織に対する飼料用米苗の供給量は増加傾向にあり、供給を増加させるべく連携強化を図っていく。また新品種「なつほのか」についても、育苗体制を整え供給量増加に努めていく。

野菜・花卉苗については、ヤマジノギク苗の供給を前年より再開したが、本年もウイルス発生前の供給量に比べ大幅に落ち込むと見込まれる。小ネギの試験栽培では、栽培研究会等に積極的に参加したこともあり、出荷量増や品質向上を図れたが、水稲苗生産等の繁忙期との兼ね合いに課題があり、今後とも検証を行っていく。その他野菜苗については、減少傾向にある山香地区以外からの早期苗需要が増え、可能な限り受託し供給量を増やしていく。薬用作物栽培受託作業では、引き続きキキウ栽培を中心に受託を継続する。

花苗・野菜苗のふれあい市場へのおける菓ごもり需要の拡大も一つの機会ととらえ、活性化センターの活動を生産に努める。特にコロナ禍における菓ごもり需要の拡大も一つの機会ととらえ、活性化センターの活動をPRしていく

一 種類別生産計画

種別	前年度実績 見込み(本・枚)	受託等計画												備考			
		単位(本・枚)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
水稲	51,012	55,500					→										硬32.5千、緑3千、芽2千、播1万、朝8千
シシトウ・トウガラシ	7,374	5,450	→														→外産350、計7万1600、ト7500
白ネギ	642,312	670,560	→														白芽300,960、甘芽369,600
タマネギ	161,670	222,000								→							JAおおいだ6.2万、他16万 100本/束
ブロッコリー	12,672	22,000							→								JAべつぶ日出注文 100本/枚
野菜苗(ふれあい他)	26,000	54,700					→			→							JA注文17000、その他37500、計200150本/枚
ヤマジノギク(全農)	115,650	135,000						→									7~10月咲、寒蒔蕪株管理 150本/枚
小菊(全農)	175,350	162,000															新盆、旧盆、短径生産 100本/枚
ホオズキ(全農)	82,000	85,000	→														
小ネギ(農協)	3,200kg	6,300kg															JAおおいだに出荷

種 別	前年度実績 見込み(本・枚)	受託等計画												備 考				
		単位(本・枚)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月			
花 苗 (ふれあい他)	20,000	22,200																公共機関より注文有
薬 用 作 物 栽 培																		受託作業

※水稲55,500枚(前実見込比108.8%)、野菜計975,810本(前実見込比114.8%)、花き・花壇苗計382,000本(前実見込比102.4%)

一 山 香 グ リ ー ン エ コ ラ ン ド 事 業

本年度の山香グリーンエコランド事業運営に係る家畜排泄物処理計画は、前年より再開した茶葉生産企業及び市外へのバラ堆肥の供給量増加を図ることにより、製品堆肥の長期滞留を防止、在庫量を適性に保つことと安定的かつ継続的な原料受入を推進する。そのため、乳牛糞に対し含水分量の低下を強く徹底しながら、水分量が低い肥育牛糞の搬入が増えるように、搬入農家に働きかけていく。

処理過程においては、堆肥発酵に適する含水分量調整のため、一次発酵舎ブローア吹き出し口の清掃を継続して実施し、安価な副資材である刈り草の確保に努め、戻し堆肥の利用を控え生産コストの削減に努める。

堆肥供給のバラ・フロン堆肥では、米価の下落から水田への散布作業は減少すると思われるが、茶葉生産企業へのバラ堆肥供給及び市外への供給によりバラ堆肥の供給量増加を図る。小袋堆肥は、令和2年度に供給した新型コロナ対策による事業分を除き減少傾向が続いており、現在供給しているJ Aや小売店への供給増を推進すると共に、近隣県外にも視野を広げた積極的な推進を図る。また、コロナ禍での巣ごもり需要が拡大しており、家庭菜園等で利用してもらえよう供給方法なども検討して行く。

種類別生産計画

種別	家畜排せつ物処理計画		生産量(D)	種別	堆肥供給計画
	家畜排せつ物	処理計画			
乳用牛糞	3,500 t	リユースべ換算量	4,419 m ³	バラ堆肥自己取り	850 m ³
繁殖牛糞	50 t	6,863 m ³	(D)=A'×製品比率6.2%	バラ堆肥配達	500 m ³
肥育牛糞	1,100 t	(B)	戻し堆肥減損量(E)	バラ堆肥配達散布	1,400 m ³
豚ふん	0 t	副資材使用量	-69 m ³	合計	2,750 m ³
採卵鶏糞	0 t	1,000 m ³	完成品量(F)	小袋堆肥自己取り	8,000袋
ブロイラー糞	400 t	(C)	4,350 m ³	小袋堆肥配達	32,000袋
合計	5,050 t	(A')=B+C	(F)=D-E	合計	40,000袋
				合計	4,350 m ³

山香グリーンエコランド事業計画(数量基準)

種別	前年度実績見込み	受託等計画												備考		
		数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	
処 理	家畜排せつ物搬入	4,850t	5,050t	370	327	625	399	443	344	349	330	456	367	491	549	農家戸数:産3肥2繁17卵採卵0
	副資材搬入(刈草)	750m ³	800m ³		100	100	100	150	150	100	100					1社より購入(冬季用スツ700m ³)
	副資材搬入(ミカワ)	200m ³	200m ³									200				IA7がCから無償譲渡(セカンド作業委託)
バ	堆肥自己取り	746m ³	850m ³	55	18	5	7	46	48	34	25	105	315	132	60	
ラ	堆肥配達	284m ³	500m ³	80	55	5	31	62	53	30	48	7	8	21	100	
	堆肥散布	1,258m ³	1,400m ³	55	25	10	15	65	70	39	224	352	268	154	104	水稲800m ³ ,花野菜400m ³ ,日出200m ³
小	堆肥自己取り	7,000袋	8,000袋	1000	250	200	350	800	800	1000	1000	600	450	750	800	
	堆肥配達	27,000袋	32,000袋	3500	1800	1200	1800	2900	4000	2700	3600	800	2400	2800	4500	
袋	上記の内供給強化(A供給)	4,000袋	4,000袋	1000				1000				2000				展示会、大量注文等(配4000)

※搬入処理量5,050t(前実績見込比104.1%)、供給:6,72,750m³(前実績見込比120.6%)、小袋40,000袋(前実績見込比117.6%)

一 担い手育成支援事業 一

地域の実質的な担い手となり活動の核でもある当センターは、担い手不在集落を含む杵築市全域をカバーする、杵築市地域農業経営サポート機構として県知事から認定されている。このため杵築市集落営農連絡協議会（20組織）を中心とする24連携員と杵築市、JA等の各協力関係機関と密に連携をとり、農地利用集積円滑化事業、農地保全管理事業、高次元農業推進事業と多岐に渡る事業の展開をしている。地域経営体の組織連携化を促進し、中核農家及び営農組織等の育成・支援となる担い手対策等により、農家の労力を補完するとともに、農業機械等への過剰投資の抑制、地域主幹品目の維持・拡大を図り、もって農業所得の向上と生活の安定、さらには地域農業の振興、農地の保全を図っていく。

① 杵築リース農園事業（農地利用集積円滑化事業）

当該農園の施設リース料及び農用地賃貸料の徴収・支払事務、農用地売買等事業（賃貸借）を実施。農用地の賃貸借は、リース期間満了をもつて随時、中間管理機構への移行・誘導に向け取り組む。

② 研修等事業（農地利用集積円滑化事業）

杵築いちごトレニーニングファーム施設用地を、研修等事業により中間保有。

この農用地にJAが事業主体となり、いちご栽培研修施設、いちご育苗研修施設を建設

契約期間：平成26年4月（杵築市農業委員会総会平成25年3月5日に同意）～令和5年3月31日

参入者：2年毎の入れ替え制（8年間：研修は計4回実施）令和4年度夏季の収穫をもって終了。

令和4年度をもって農地の賃貸借期間が満了する。

2. 収益目的事業（令和4年度内訳）

収益事業の公共施設関連連管理作業は、環境保全美化を主体とし、杵築市から市道日出大田線外、主要幹線18路線の除草作業、山香・大田地区における市道の道路補修・支障木伐採等の道路維持関連作業。山香庁舎周辺外、市有地除草作業並びに公園施設の管理作業など積極的な受託に努める。また、前年増加した害虫（蜂）駆除による災害忌避にも務めるなど多岐にわたる事業に取り組む。

請負事業は、不採算である公益目的事業部門を補うことを目的に、前年実績を目標とする業務（仕事）獲得を積極的に進め利益増進を目指す。また、一般住民からの多種多様なニーズに対応できる体制は補完しつつ、公益部門への人員配賦や作業の効率化を進め、杵築市における認知度や会社の存在意義を高めていけるよう事業展開を図っていく。

一 公共施設管理に係る受託作業の実施計画 一

種別	前年度実績 見込(千円)	受託等計画												備考		
		金額(千円)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	
山香地域市道除草	6,371	6,371								→						71,568㎡(山香18、大田1路線)
甲尾山公園外管理	7,438	7,438														除草158,883㎡(6カ所)防除、中化溝掃、外
山香地域市有地除草作業	1,888	2,195	→	→												40,240㎡(14カ所)
山香大田地域市道維持管理	2,317	2,317														道路維持、側溝清掃等
その他の市請負	4,294	4,844														山香庁舎庭園維持管理、支障木伐採
その他の請負	3,123	2,274														蜂駆除75件、外

※請負金額合計25,439,000円(前実見込比100.03%)

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額 (B)	増減(A)-(B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	1	1	0	法人：基本財産30,000千円定期利息
基本財産運用益計	1	1	0	100.0%
特定資産運用益				
特定資産受取利息	2	2	0	公益：寄付金26,100千円定期利息
特定資産運用益計	2	2	0	100.0%
受取会費				
正会員受取会費	5,000	5,000	0	市300、JA(山1120、杵80)
正会員特別受取会費	1,000	1,000	0	運営費1,000
受取会費計	6,000	6,000	0	100.0%
事業収益				
農地賃借収益	3,096	3,501	-405	売買等事業分 山香6戸、杵築18戸
農地手数料収益	270	270	0	杵築リース農園事務手数料
農地利用雑収益	6	6	0	
農地利用集積円滑化事業収益計	3,372	3,777	-405	89.3%
耕起作業収益	245	398	-153	3.0ha 前実 1.8ha
畦塗り収益	1,170	1,105	65	18.0km 前実 14.9km
荒水代掻収益	822	561	261	12.5ha 前実 11.3ha
田植え作業受託収益	1,677	1,415	262	23.2ha 前実 22.0ha
水稲収穫作業受託収益	5,533	5,951	-418	31.8ha 前実 27.5ha
農作業人夫使用料	540	540	0	サポート機構連携
薬剤散布収益	11,438	13,660	-2,222	300.0ha 前実 292.1ha
その他農地保全管理収益	9,822	8,806	1,016	除草・森林組合理、耕起・除草セット
農地保全管理事業収益計	31,247	32,436	-1,189	96.3%
高次元農業推進事業収益				
水稲苗生産収益	32,966	31,587	1,379	55,500箱 前実 51,012箱
野菜苗生産収益	13,217	13,598	-381	小科 ¹ 栽培試験減
花卉苗生産収益	10,983	9,199	1,784	増
育苗雑収益	33	33	0	育苗雑収入
高次元農業推進事業収益計	57,199	54,417	2,782	105.1%
山香グリーンエコラント ² 事業収益				
堆肥供給収益	18,200	19,367	-1,167	茶葉生産企業増、水田散布減
受託収益	4,462	5,009	-547	水田散布減
家畜糞尿処理請負収益	2,822	2,803	19	
山香グリーンエコラント ² 事業収益計	25,484	27,179	-1,695	93.8%
杵築リース農園事業収益計				
収益事業収益				
公共施設等管理作業収益	25,335	22,493	2,842	市有財産・市道維持・庭園管理増
収益事業収益計	25,335	22,493	2,842	112.6%
事業収益計	142,637	140,302	2,335	101.7%
振替：受取地方公共団体補助金	5,607	5,870	-263	指定正味財産からの振替額
受取地方公共団体助成金	300	300	0	農地利用集積円滑化事業活動助成金
受取補助金等計	5,907	6,170	-263	95.7%
受取利息	6	6	0	預金受取利息
その他雑収益	9,053	5,010	4,043	薬用作物、指定管理料、多面外
雑収益計	9,059	5,016	4,043	180.6%
経常収益計	163,606	157,491	6,115	103.9%

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

(2) 経常費用				(公益目的事業、収益目的事業)
事業費				
(集積)農地賃借費	3,096	3,501	-405	
(集積)事業雑費	6	6	0	
農地集積円滑化事業費計	3,102	3,507	-405	88.5%
(保全)諸材料費	3,781	4,405	-624	田植え除草剤、刈農薬
(保全)機械賃借費	188	279	-91	刈防除:車両用以外
(保全)その他作業委託費	1,951	2,336	-385	刈防除委託、草・TPH保守
農地保全管理事業費計	5,920	7,020	-1,100	84.3%
(高次)種苗費	5,971	5,666	305	水稲種籾、マツノタケ親株外
(高次)肥料費	379	420	-41	小社'肥料外
(高次)農薬費	922	914	8	水稲、小社'外
(高次)諸材料費	6,009	5,354	655	水稲・花き野菜培土外
(高次)出荷経費	4,145	3,110	1,035	小社'出荷費用、ふれあい手数料外
(高次)試験研究費	150	50	100	試験栽培費用
(高次)事業雑費	72	72	0	水稲苗箱洗浄作業委託
高次元農業推進事業費計	17,648	15,586	2,062	113.2%
(eco)原材料	264	495	-231	副資材(刈草)
(eco)諸材料費	1,586	1,251	335	小袋用袋
(eco)燃料費	771	750	21	堆肥化処理燃料:バ'イ'ゼ'ル、外
(eco)動力光熱費	2,160	2,040	120	電気料金
(eco)作業委託費	260	323	-63	フレコ詰り、配達
(eco)堆肥化経費	36	36	0	脱臭剤:希硫酸
(eco)eco推進活動費	61	61	0	処理料金減額(水分調整協力)、外
(eco)堆肥化雑費	330	330	0	堆肥成分分析、外
山香'グリーンエコランド'事業費計	5,468	5,286	182	103.4%
杵築'リース農園受託'事業費計				
(公共)作業委託費		66	-66	
(公共)請負委託仕入	337	428	-91	芝肥料、殺虫剤、外
公共施設等管理事業費計	337	494	-157	68.2%
事業原価計	32,475	31,893	582	101.8%
(事)給料手当	67,281	63,312	3,969	算出基礎:従事 合計31人体制
(事)退職給付費用	1,897	2,009	-112	正職員7名
(事)法定福利費	8,703	7,967	736	
(事)福利厚生費	2,370	2,195	175	
人件費計	80,251	75,483	4,768	106.3%
(事)会議費	55	69	-14	
(事)消耗品費	4,021	4,559	-538	フ'ア'リ'使用量減、小社'箱外
(事)宣伝広告費	480	502	-22	エコ:試供品、販促品
(事)通信運搬費	752	676	76	各事業:切手、電話料金
(事)図書研修費	570	818	-248	資格取得
(事)事務委託費	367	102	265	税理士顧問料(公・取)、手数料等
(事)租税公課	9,547	9,226	321	軽油税、印紙税、消費税
(事)会費分担金	21	9	12	各事業協議会等会費
(事)保守修繕費	6,456	6,259	197	各事業機械施設修繕等
(事)保険料	1,835	1,901	-66	刈動産、自動車、賠償、傷害
(事)水道光熱費	2,076	1,992	84	各事業:電気、水道
(事)賃借料	1,291	748	543	車輛・機械、会計ソフト(公・取)
(事)消耗什器備品費	451	511	-60	保全、公共:工具、刈払機
(事)車輛費	3,749	3,544	205	各事業:車検・整備、タ付外
(事)施設管理費	759	540	219	電気保安、警備(公)、ゴミ(公・取)
(事)燃料費	5,596	4,081	1,515	燃料単価上昇
(事)減価償却費	8,455	8,780	-325	償却済、増加分相殺
(事)旅費交通費	50	50	0	旅費
(事)雑費	367	464	-97	高次:水源'GM'使用料、外
その他事業経費計	46,898	44,831	2,067	104.6%
事業費合計	159,624	152,207	7,417	104.9%

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

管理費				(法人会計)
(管)給料手当	915	1,507	-592	算出基礎:従事 会計30人体制
(管)法定福利費	163	265	-102	
(管)福利厚生費	111	90	21	
人件費計	1,189	1,862	-673	63.9%
(管)会議費	30	30	0	理事会・總會費用
(管)消耗品費	174	141	33	事務消耗品
(管)通信運搬費	104	104	0	切手、電話料金
(管)図書研修費	60	60	0	図書、公社研修費、外
(管)事務委託費	839	1,112	-273	税理士(法)、社労士顧問料
(管)租税公課	31	6	25	収入印紙、外
(管)会費分担金	62	62	0	農業公社協議会、安全運転管理
(管)保守修繕費	221	223	-2	複合機、会計システム保守、etc.等
(管)保険料	28	22	6	傷害保険、自動車保険
(管)水道光熱費	99	98	1	事務所:水道、ガス、電気
(管)賃借料	202	510	-308	会計システム(法)
(管)消耗什器備品費	125	50	75	パソコン、周辺機器
(管)車輛費	105	50	55	整備費
(管)施設管理費	229	470	-241	警備保障(法)、ゴミ収集(法)、外
(管)燃料費	104	81	23	自動車
(管)旅費交通費	114	114	0	役員費用弁償
(管)支払利息	15	15	0	短期借入金利息
その他管理費計	2,572	3,178	-606	80.9%
管理費合計	3,761	5,040	-1,279	74.6%
経常費用計	163,385	157,247	6,138	103.9%
評価損益等調整前当期経常増減額	221	244	-23	90.6%
当期経常増減額	221	244	-23	90.6%
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益計				
(2) 経常外費用				
その他の経常外費用計				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替額	0	0	0	収益事業振替額492
税引前当期一般正味財産増減額	221	244	-23	90.6%
法人税、住民税及び事業税	176	71	105	
当期一般正味財産増減額	45	173	-128	26.0%
一般正味財産期首残高	125,084	124,911	173	100.1%
一般正味財産期末残高	125,129	125,084	45	100.0%
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	5,607	5,870	-263	95.5%
当期指定正味財産増減額	-5,607	-5,870	263	95.5%
指定正味財産期首残高	87,067	92,937	-5,870	93.7%
指定正味財産期末残高	81,460	87,067	-5,607	93.6%
III 正味財産期末残高	206,589	212,151	-5,562	97.4%

令和3年度

事業報告書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

豊かな村づくり



公益社団法人 杵築市地域活性化センター

主 な 活 動 報 告

年	月	日	活 動 内 容	
令和3年	4月	5日	水稻苗播種開始	
		19日	豊後大野市犬飼町へ視察(エコフレンド資材活用のため)	
		26日	白社 苗納品開始(JAおおいた東部事業部山香地域)	
	5月	12日	ヤマシノギク親株引取(花きグループ)、定植開始	
		20日	監事監査	
		23日	田植え受託作業開始	
	6月	7日	杵築市農業再生協議会幹事会	
			理事会	
		8日	ヤマシノギク苗挿し芽作業開始	
		24日	定時社員総会	
		24日	理事会	
		25日	ヤマシノギク苗出荷開始	
		30日	市町村農業公社連絡協議会総会	
		7月	14日	小社 研修(国東市農業公社)
			20日	試験用ヤマシノギク引取(7/21定植)
			21日	水稻無人ヘリコプター防除第1回目開始(8/6迄：杵築含)
	8月	12日	ブロッコリー苗播種作業開始(JAべっふ日出)	
		19日	水稻無人ヘリコプター防除第2回目開始	
		23日	ホズキ苗播種作業開始	
	9月	1日	早期水稻収穫作業受託開始	
		6日	タマネギ苗播種作業開始(JAおおいた東部事業部山香地域)	
		9日	味一社 部会冬作播種講習会(杵築市)	
		10日	ブロッコリー苗出荷開始(JAべっふ日出)	
		21日	ホズキ苗定植開始	
		30日	令和3年度上半期棚卸し	

主 な 活 動 報 告

年 月 日	活 動 内 容
令和3年 10月26日	玉ねぎ苗(極早生)出荷開始
29日	令和3年度上半期会計等監査
11月 4日	土壌改良材(水田ミネラルG散布)開始
5日	令和3年度杵築市集落営農連絡協議会 (なつほのか試食会、市長との意見交換会)
17日	大分県市町村農業公社連絡協議会会長・副会長会議
18日	土壌改良材(水田堆肥散布)開始
12月 2日	大分県花き種苗供給連絡協議会
14日	大分労働基準監督署立入検査 (令和4年1月25日是正・改善報告書の提出・受理)
16日	理事会
令和4年 1月 4日	労働安全講習会(農地保全管理部門・公共施設管理部門)
7日	ホズキ苗挿し作業開始
24日	カボチャ苗播種作業開始
2月 2日	杵築市農業再生協議会幹事会
14日	ホズキ苗(新盆分)出荷開始
18日	白ネギ苗播種作業開始
21日	ヤンマースカイスクール開校(トローン資格取得)(2/25日迄)
3月17日	ホズキ苗(旧盆分)出荷開始
17日	小菊(7月咲)出荷開始
22日	労働安全講習会(高次元農業推進事業)
30日	監事会(活性化センター、山香グリーンエコランド 棚卸)

【事業報告】

一 総 括 一

農業・農村を取り巻く環境は、近年の農業施策の変動に加え、農業従事者の高齢化並びに後継者不足が進行し、生産コスト上昇やコロナ禍による農産物の価格低迷、さらに異常気象と様々な不安も重なり、依然厳しい状況にある。収益性の低い条件不利地域に於いては、病虫害被害や米価の下落等で一段と農業離れに拍車がかかり、遊休農地、荒廃化が進むことが懸念される。

事業面では、公益目的事業として、農地利用集積円滑化事業に於いては、新規相談や賃借期間の終期到来分については、農地中間管理機構への移行・誘導を中心に業務を推進した。

農地保全管理事業に於いては、病虫害が発生し、作況指数が80%を切る事態が2年続いたため、農作業受託の減少が進むことが懸念されたが、集落営農組織からのまとまった注文があり、代かき・田植え作業は大きく増加した。一方で害虫の飛来や台風の上陸、集中豪雨等の影響をほとんど受けることがなく、無人ヘリコプター防除・稲刈作業は減少し、水稻基幹作業では前年比91.6%、計画比80.3%となった。農閑期には通常通り土壌改良材散布を行った他、森林組合からの作業を多く受託することができ、周年作業の確保ができた。

高次元農業推進事業に於ける薬用植物栽培試験では、キキョウを中心とした作業を行った。新型コロナウイルス対策事業を活用し、新たに出荷調整作業を行える人材の確保に努めたことや乾燥機が導入されたことで、製品率の向上が図られた。また収量についても、栽培技術の向上により年々増加している。

水稻苗の供給では、食用米が前年比93.4%となっており、疎植栽培や離農が進んでいるものと考えられる。飼料用米については、前年並みの供給を行うことができた。

花卉・野菜苗では、令和2年度にウイルス感染のため、苗供給を中止したヤマジノギク苗を再供給することになったが、ウイルス症状発生を懸念し、栽培を断念する農家も多く、令和元年度と比較すると50.3%と約半分ほどに落ち込んだ。また小ネギの試験栽培では、令和2年度播種分の生育が遅かったことや水稻苗作業の繁忙期と重なったことで作業ができず、スケジュールの見直しが課題となった。花苗・野菜苗については令和2年度にウイルス被害があり、一時期すべての植物の供給を完全に停止したこともあり、花苗が前年比120.6%、野菜苗が103.4%と共に伸びている。直売等の販売も年々増加傾向にあり、今後もより良い品目や品種の選定を行っていく。

山香グリーンエコランドの家畜排せつ物搬入処理では、搬入制限を行わなかったため、前年度比で乳牛ふんが111.0%、肥育牛ふんが103.8%、ブロイラーふんが107.5%となった。乳牛ふんの搬入増加率が大きく、水分調整が問題となるが、令和3年度については堆肥化処理過程で副資材として利用する安価な刈草が通常よりも多く入ったことで、円滑な処理を行うことができた。堆肥供給では、令和2年度に実施した新型コロナウイルス対策事業で

の小袋堆肥の供給はなくなったが、県の堆肥散布事業を請け負った他、令和2年度に供給の途絶えた茶葉生産農家へのバラ堆肥供給を再開した。

収益目的事業の公共施設関連管理作業に於いては、山香地域市有地除草作業が減少し、山香庁舎庭園管理の廃止と減少した一方で、選挙ポスター掲示場の設置等を請け負った他、これまで行っていた害虫駆除が113件で前年比281.4%、支障木伐採作業等の市受託作業も25件に増加した。

経営面では、流動比率は772%であり理想水準を満たしている。棚卸資産に於いては、令和3年度から無人ヘリコプター用農薬の未使用分が返品できなくなり、棚に計上した。またエコランドに於いては、令和2年度発注分の小袋在庫や堆肥仕掛品が減り、堆肥完成品が増えたことにより、棚卸資産は109.3%と増加した。

固定資産に於いては、今後の無人ヘリコプターの更新時期に備え、検証を行うためにドローンを購入し、5名の職員が資格を取得した。また荒廃地・畦畔等の草刈作業の注文増を見越し、フレールモアやウイングモア等を購入した。

今年度の資産取得資金への繰入れ額に比べ、上記機械を購入するための資産取得資金の取崩し額が多かったことや、令和2年度取得したエコランド小袋詰機の減価償却額が大きく、固定資産合計は前年比93.7%であった。

このため資産は545万円減少し、前年比97.9%の2億5,910万円となった。

これに対し、負債に於いては、前年に比べ高次元農業部門での土入れ機、エコランド指定管理に係る市への寄付金、公益共通での決算賞与等の未払い金等が減少したため、流動負債が前年比80.6%となり、退職給付引当金を合算した負債合計では、前年比94.9%となった。

損益では、収入に於いて、水稲関連作業で害虫の飛来や台風の上陸、集中豪雨等の影響を受けなかったため、無人ヘリコプター防除や稲刈作業が大幅な減少となったが、森林組合受託作業や水中ポンプ交換作業を受託したため、前年比112.6%、計画比111.5%となった。高次元農業推進事業では、水稲苗生産量が疎植植えや離農のために食用米が前年比93.4%と減少し、またウイルス発生リスクのため農家が敬遠したヤマジノギク苗の減少や輪菊苗の供給停止のため、花卉苗生産も63.7%と大幅に減少した。また小ネギの試験栽培が令和2年度の生育遅延や水稲作業との期間重複のため、前年比90.7%、計画比88.5%となった。

エコランド事業では、県の堆肥散布事業を請け負った他、供給の途絶えた茶葉生産農家へのバラ堆肥供給を再開したが、単価が安いバラ・フレコン堆肥の供給量が大幅に増え、令和2年度の新型コロナウイルス対策事業を活用した小袋堆肥供給が単発であったため、前年比83.8%となった。公共施設管理事業では、甲尾山公園外公園管理や支障木撤去作業が大幅に増加し、また害虫駆除が113件で前年比281.5%となっており、部門全体で前年比122.8%と大幅に増加した。

これらを合算した経常収益計は、前年比105.1%の1億5,912万円となった。

費用に於いては、農地保全管理事業で水中ポンプ交換作業にかかる諸材料費

と5名が受講したドローン資格取得のための図書研修費が増加した。高次元農業推進事業では、小ネギの試験栽培にかかる出荷経費が大幅に増加し、令和2年度にヤマジノギク苗の代替とした小菊苗購入で費用が増大した種苗費が減少した。山香グリーンエコランドでは、今年度より常勤職員を1名減の2名体制とし、不足人員をセンターからの応援で賄う体制としたことから、作業委託費及び事務委託費が大幅に増加した。また令和2年度に購入した新型コロナ対策事業用堆肥袋の在庫を消費したことから、諸材料費は減少した。

その他事業費としては、今年度は機械や車両の故障が多く、保守修繕費及び車両費が増加した。また、年度途中より価格の上昇が著しかった燃料費はその後価格が高止まりし、大幅な増加となった。減価償却費は令和2年度末に導入したエコランドの小袋詰機の償却が大きく影響し増加した。人件費については、1月から薬用作物関係で新型コロナウイルス対策事業を活用し、多数のアルバイトを雇用したため、その分微増することとなった。

これらを合算した経常費用計は、前年比107.6%の1億5,677万円となった。

経常外増減の部に於いては、収益及び費用共に計上はなかった。

そして認定法18条の規定により、収益事業等から生じた利益の50%を公益目的事業会計に繰入処理を行うため、収益事業から251万円を公益目的事業に繰入し、法人税等の税を引き、当期一般正味財産増減額は173万円となり、指定正味財産を加えた正味財産期末残高は前年比98.6%の308万円減少となる2億1,476万円、自己資本比率82.9%となった。

今後も高齢化や離農が進む中で、農作業受託件数や各種苗受託注文数の減少が予想される中で、耐用年数が経過し老朽化する機械の更新や修繕に係る資金繰り及び原油高の高止まりによる資材や燃料費の値上げが続くものと考えられる。自助努力だけではかなり厳しい状況が続くと思われるが、目的や事業を再確認し、地域保全並びに農業福祉的立場に立って活性化センターの役割を継続していけるよう取り組んでいく。

1. 農地利用集積円滑化事業

農地利用集積円滑化事業は、農地中間管理事業（農地バンク）に一元化され取り扱いができないため、新規相談や利用権終期到来分について市へ情報提供を行うとともに、地権者・担い手双方へ案内文書を送付し、問合せ窓口として農地中間管理機構に集積されるべく調整を行った。

今後も市・農業委員会等の関係機関の指導のもと、農地中間管理機構への集積に協力し、ひいては杵築市の農業発展のために、希望ある農業へと誘導できるよう重要な役割を担っていきたい。

2. 農地保全管理事業

地域農業、農地の保全、農業機械の過剰投資の抑制を目的に、農作業受託という形で実質的な担い手となり、農業支援に取り組んだ。

本年度の水稻の作柄は、田植期以降の日照不足や8月中旬の大雨等の天候不順による低温、日照不足であったが、9月中旬以降は天候に恵まれたことにより、大分県の作況指数が99の平年並みとなった中で、杵築市を含む湾岸部で98という数値となった。

このような状況下において、水稻基幹作業では、畦塗り・代かき・田植え作業が個人及び集落営農組織からの新規受託により増加したが、稲刈り作業が前年比86.0%に止まり、全体で前年比98.4%となった。

また、無人ヘリコプター防除は、2年連続のウンカ被害対策として、初期の増殖抑止を目的に1回目の防除を推進し増加するも、今年度は目立った飛来が見られることはなく、2回目の防除依頼は減少し、全体で前年比90.3%と減少した。

所有する無人ヘリコプターはすでに生産が終了し、代替機の選別が急がれるため、将来補助機としての役割も担える農業用薬剤散布ドローンを導入し、来年度からその実証を行う。

土壌改良材散布については、ミネラル散布が前年比151.0%、堆肥散布が前年比103.9%となり、全体では前年比117.8%と増加した。

農閑期に森林組合より受託した除伐や植栽等作業は、前年比131.7%と増加した。

3. 高次元農業推進に関する育苗センターの管理運営

杵築市農業の振興と発展を目的とし、農家の育苗作業の省力化及び経費の軽減を図り、農家のニーズに合った安心安価な健苗生産供給に取り組んだ。

水稻苗のうち食用米は、2年続いたウンカ被害や高齢化による離農が影響したと考えられ、前年比93.4%と減少した。食用米については年々減少が続いているが、飼料米は増加傾向であり、令和4年度産苗についても新規で集落営農組織から受注しており、食用米の減少分をカバーしていけるよう、集落営農組織に働きかけを行う。

薬用植物栽培試験では、キキョウを中心とした管理作業を行った。下期には新型コロナウイルス対策事業を活用し、出荷調整作業の効率化のため、新規にアルバイトを雇用し指導を行い、作業効率が向上したことや乾燥機が導入され品質が改善、製品率が向上し、収量も大幅に増加した。

花き苗では、ウイルス感染のため、1年間栽培を中止したヤマジノギク苗の供給を再開したが、親株のウイルス感染が完全には否定される状況にはならず、注文数は令和元年度に比べ大幅に落ち込んだ。また令和2年度ヤマジノギク苗の代替とした小菊苗生産が一時的に大きく落ち込んでいる。

花壇苗・野菜苗については、令和2年度のウイルス発生に対応し全量廃棄のうえ保菌虫の拡散防止に努め、本年度は保菌虫による媒介もみられず、年間を通して供給することができた。直売での出荷も年々伸びており、今後も品目等を検討しながら供給増を目指す。

小ネギの試験栽培については、春季の水稻苗作業との兼ね合いに課題があり、生産回転数が減少し収益に影響することから、本年度については時期をずらし3月から播種を行っており、今後の生育状況を見ながら、作業スケジュールの構築を図る。

4. 山香グリーンエコランド事業

【 搬入 】

家畜排せつ物の搬入量は、4,854tで前年比110.1%となり、数量にして445tの増加、計画比91.7%となった。

各畜種における対前年での増減は、乳牛ふんでは、搬入制限を行わなかったため前年に比べ336tの大幅増となった。一方で副資材の代替として搬入を推進している肥育牛ふんは35t増加したが、堆肥化を促進する上ではかなり難しい状況になった。また、繁殖牛ふんが42t搬入されるようになり、プロイラーふんは32t増加した。

【 堆肥化処理過程 】

処理過程では、不足していた副資材である刈草の購入量が大きく回復したが、水分量の高い乳牛ふんの搬入量が大幅に伸びており、刈草の使用量も増加した。刈草は安価ではあるが、令和2年度のように極端に不足することも考えられることから、搬入時の水分低下などを引き続き搬入農家に要望していく。

【 堆肥供給 】

堆肥供給は、フレコン・バラ供給は前年比137.9%、計画比78.7%、小袋供給は前年比54.7%、計画比82.2%であった。

フレコン・バラ供給では、バラ渡しが前年比214.8%、計画比201.9%、フレコン配達が前年比92%、計画比69%、フレコン散布では、130.1%、計画比61.3%であった。

フレコン・バラは、病害虫の大発生や米価の下落により水田散布作業は減少傾向が続いているが、県の事業による堆肥散布作業や茶葉生産農家へのバラ供給により供給量は大幅に増加した。

小袋堆肥では、前年に新型コロナウイルス対策事業(園芸農業経営支援)により供給量が増えた反動で工場渡しが前年度比18.9%、計画比64.6%となり、配達では前年比96.5%、計画比87.7%であった。

堆肥の総供給量は微減であったが、利益率の高い小袋堆肥での供給から利益率の低いバラ・フレコン堆肥の供給へ移行したことにより、収入は大幅な落ち込みとなった。家畜糞尿処理を行うことが主目的ではあるため、行政と協議しながら、継続的な安定経営を目指していく。

5. 杵築リース農園事業

リース料精算に係る事務作業については、JAおおいた東部事業部からの請求を受け、各事業実施者(参入者)に対するリース料(農地賃借料、施設償還金・保険料等未収金)の請求令書を発送し、随時リース料を徴収し、地権者並びにJAへの支払い事務を実施した。

6. 収益目的事業(公共施設等管理事業)

杵築市の景観・環境保全を目的とし、市道日出大田線ほか主要幹線の草刈り・維持管理及び各種公園施設の管理など受託し、環境保全美化に努めた。あわせて住民の安全な暮らし、災害忌避を目的として実施するスズメバチ等の害虫駆除を実施した。

本年度は、山香地域市有地除草作業の規模縮小、山香庁舎庭園管理の廃止と減少する業務があった反面、害虫駆除が113件と前年比281.5%、支障木伐採作業受託等の市請負作業が25件に増え、また、選挙ポスター掲示場の設置等作業の受託も行った。

事業全体では、請負金額ベースで前年比122.8%、計画比118.6%とともに増加することとなった。

来年度も、一般住民からの多種多様なニーズに対応できる体制作りに努め、杵築市における認知度や公社の存在意義を高めていくとともに、収益事業部門と位置付け、不採算である公益目的事業部門を補えるように事業展開を図っていく。

貸借対照表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

科目	当会計期間末 (令和4年3月31日現在)	前会計期間末 (令和3年3月31日現在)	増減	備考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	42,560	33,155	9,405	
普通預金	111,808,337	112,537,838	-729,501	
事業未収入金	20,965,359	18,844,686	2,120,673	43件:公益41件、収益2件
未収収益	162	563	-401	4件:公益3件、法人1件
たな卸資産	10,944,658	10,016,633	928,025	諸材料、原材料、仕掛品、製品
貯蔵品	14,800	14,508	292	切手、収入印紙
立替金	5,200	5,200	0	エコマネースト伝票
流動資産合計	143,781,076	141,452,583	2,328,493	101.6%
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産定期預金(基)(指定)	30,000,000	30,000,000	0	市18000千円、JA12000千円
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0	100.0%
(2) 特定資産				
定期預金(特)(指定)	26,100,000	26,100,000	0	リース14100千円、共通12000千円
構築物(特)(指・一)	24,756,031	24,756,031	0	のり資材一式、のり設備、のり被覆材外
車輛運搬具(特)(指・一)	15,714,494	15,714,494	0	マフラス「レッグ」外 (7件)
機械装置(特)(指・一)	77,497,775	75,408,875	2,088,900	無人へのりMAXType II G外 (37件)
栽培特許料(特)(指・一)	615,000	615,000	0	晃花の富士外 (2件)
機械・設備取得資金(特)(指・一)	27,830,140	30,782,684	-2,952,544	特定資産取得・改良資金
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-88,885,562	-80,471,192	-8,414,370	49件
特定資産合計	83,627,878	92,905,892	-9,278,014	90.0%
(3) その他固定資産				
構築物	210,000	210,000	0	シャワ-ユニット
工具器具備品	43,050	43,050	0	代表者外印
機械装置	6,570,980	4,858,500	1,712,480	ハマナイ7外 (15件)
電話加入権	152,880	152,880	0	2件
減価償却累計額(△)	-5,281,329	-5,068,488	-212,841	16件(工具器具備品、電話加入権除く)
その他固定資産合計	1,695,581	195,942	1,499,639	865.3%
固定資産合計	115,323,459	123,101,834	-7,778,375	93.7%
資産合計	259,104,535	264,554,417	-5,449,882	97.9%
II 負債の部				
1. 流動負債				
事業未払金	14,855,478	19,338,999	-4,483,521	58件:公益46件、収益12件
未払金	1,055,729	1,878,112	-822,383	21件:公益14件、法人7件
預り金	192,306	37,303	155,003	住民税、所得税、社会保険料等
賞与引当金	2,522,491	1,854,016	668,475	
流動負債合計	18,626,004	23,108,430	-4,482,426	80.6%
2. 固定負債				
退職給付引当金	25,715,000	23,598,300	2,116,700	
固定負債合計	25,715,000	23,598,300	2,116,700	109.0%
負債合計	44,341,004	46,706,730	-2,365,726	94.9%
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体補助金	21,753,906	26,567,701	-4,813,795	特定資産等導入補助金
寄付金	66,369,329	66,369,329	0	基本金、特定預金、普通預金
指定正味財産合計	88,123,235	92,937,030	-4,813,795	94.8%

貸借対照表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

科目	当会計期間末 (令和4年3月31日現在)	前会計期間末 (令和3年3月31日現在)	増 減	備 考
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)	基本財産
(うち特定資産への充当額)	(47,853,905)	(52,667,700)	(-4,813,795)	特定資産
2. 一般正味財産	126,640,296	124,910,657	1,729,639	
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)	(35,773,973)	(40,238,192)	(-4,464,219)	特定資産
正味財産合計	214,763,531	217,847,687	-3,084,156	98.6%
負債及び正味財産合計	259,104,535	264,554,417	-5,449,882	97.9%

貸借対照表 (内訳表)

(令和4年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	収益等 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	42,560	0	0		42,560
普通預金	91,099,960	13,504,176	7,204,201		111,808,337
事業未収入金	15,807,596	5,157,763	0		20,965,359
未収収益	151		11		162
たな卸資産	9,835,778	1,108,880			10,944,658
貯蔵品	14,044	504	252		14,800
他会計短期貸付金	273,613,034	36,359,054	0	-309,972,088	0
立替金	5,200	0	0		5,200
流動資産合計	390,418,323	56,130,377	7,204,464	-309,972,088	143,781,076
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産定期預金(基)(指定)			30,000,000		30,000,000
基本財産合計			30,000,000		30,000,000
(2) 特定資産					
定期預金(特)(指定)	26,100,000				26,100,000
構築物(特)(指・一)	24,756,031				24,756,031
車輛運搬具(特)(指・一)	14,014,803	1,699,691			15,714,494
機械装置(特)(指・一)	77,497,775				77,497,775
栽培特許料(特)(指・一)	615,000				615,000
機械・設備取得資金(特)(指・一)	27,830,140				27,830,140
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-87,185,873	-1,699,689			-88,885,562
特定資産合計	83,627,876	2			83,627,878
(3) その他固定資産					
構築物	210,000				210,000
工具器具備品	10,500		32,550		43,050
機械装置	5,502,980	1,068,000			6,570,980
電話加入権			152,880		152,880
減価償却累計額(△)	-4,213,331	-1,067,998	0		-5,281,329
その他固定資産合計	1,510,149	2	185,430		1,695,581
固定資産合計	85,138,025	4	30,185,430		115,323,459
資産合計	475,556,348	56,130,381	37,389,894	-309,972,088	259,104,535
II 負債の部					
1. 流動負債					
事業未払金	12,594,526	2,260,952	0		14,855,478
未払金	886,213	0	169,516		1,055,729
預り金	192,306	0	0		192,306
他会計短期借入金	278,359,755	0	31,612,333	-309,972,088	0
賞与引当金	2,522,491				2,522,491
流動負債合計	294,555,291	2,260,952	31,781,849	-309,972,088	18,626,004
2. 固定負債					
退職給付引当金	25,715,000				25,715,000
固定負債合計	25,715,000				25,715,000
負債合計	320,270,291	2,260,952	31,781,849	-309,972,088	44,341,004
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	21,753,906	0			21,753,906
寄付金	36,369,329		30,000,000		66,369,329
指定正味財産合計	58,123,235	0	30,000,000		88,123,235
(うち基本財産への充当額)			(30,000,000)		(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(47,853,905)	(0)			(47,853,905)
2. 一般正味財産	97,162,822	53,869,429	-24,391,955	0	126,640,296
(うち基本財産への充当額)					
(うち特定資産への充当額)	(35,773,971)	(2)			(35,773,973)
正味財産合計	155,286,057	53,869,429	5,608,045	0	214,763,531
負債及び正味財産合計	475,556,348	56,130,381	37,389,894	-309,972,088	259,104,535

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体	当会計期間	前会計期間	増減	備考
科目	自 至 令和03年4月1日～ 令和04年3月31日	自 至 令和02年4月1日～ 令和03年3月31日		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	600	2,954	-2,354	
基本財産運用益計	600	2,954	-2,354	20.3%
特定資産運用益				
特定資産受取利息	884	2,846	-1,962	
特定資産運用益計	884	2,846	-1,962	31.1%
受取会費				
正会員受取会費	5,000,000	5,000,000		市300、JA200(山120、岸80)
正会員特別受取会費		1,250,000	-1,250,000	市75、JA50(山30、岸20)
受取会費計	5,000,000	6,250,000	-1,250,000	80.0%
事業収益				
農地賃借収益	3,500,923	4,866,774	-1,365,851	
農地手数料収益	270,000	440,000	-170,000	
農地利用雑収益	5,531	5,531		
農地利用集積円滑化事業収益計	3,776,454	5,312,305	-1,535,851	71.1%
耕起作業収益	161,034	358,860	-197,826	
畦塗り収益	969,865	831,870	137,995	
荒水代播収益	723,386	625,089	98,297	
田植え作業受託収益	1,595,252	1,317,363	277,889	
水稻収穫作業受託収益	4,953,329	5,846,954	-893,625	
水稻裏作作業受託収益	12,950	17,474	-4,524	大豆播種減
農作業人夫使用料	27,000	14,200	12,800	大麦運搬作業
薬剤散布収益	10,555,671	11,589,262	-1,033,591	292ha麦13ha稲273ha大豆6ha
その他農地保全管理収益	17,155,034	11,498,269	5,656,765	水中ポンプ、森林組合、ニ作業委託増等
農地保全管理事業収益計	36,153,521	32,099,341	4,054,180	112.6%
水稻苗生産収益	29,566,368	31,544,791	-1,978,423	51.012枚94% 飼料米4646枚食、食用減
野菜苗生産収益	8,261,642	6,072,782	2,188,860	小鉢*売上計上
花卉苗生産収益	9,706,938	12,363,505	-2,656,567	花壇121%花き64%(89%)*小64%
育苗雑収益	633,292	3,107,457	-2,474,165	生菜→その他雑収、小鉢*価格安定
高次元農業推進事業収益計	48,168,240	53,088,535	-4,920,295	90.7%
堆肥供給収益	15,570,396	20,809,361	-5,238,965	7ルコン*ハ*7137.9%、小袋54.7%
受託収益	4,219,782	3,546,467	673,315	7215%、7配92%、散30%、小配97%
家畜糞尿処理請負収益	2,757,192	2,551,379	205,813	108.1%
エコラント*事業雑収益	8,800	7,920	880	梱包用資材
山香*リーノエコラント*事業収益計	22,556,170	26,915,127	-4,358,957	83.8%
杵築リース農園事業収益計				%
公共施設等管理作業収益	26,677,413	21,725,875	4,951,538	支障木除去等・蜂駆除増
収益事業収益計	26,677,413	21,725,875	4,951,538	122.8%
事業雑収益		156,080	-156,080	
事業収益計	137,331,798	139,297,263	-1,965,465	98.6%
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	1,624,390	79,000	1,545,390	多面広域事務補助金
振替*受取地方公共団体補助金	5,813,795	4,387,901	1,425,894	指定正味財産からの振替額
受取地方公共団体助成金	300,000	300,000		
受取補助金等計	7,738,185	4,766,901	2,971,284	162.3%
雑収益				
受取利息	1,086	1,097	-11	
その他雑収益	9,049,210	1,026,136	8,023,074	生菜、転換作物、*70*試験、多面広域
雑収益計	9,050,296	1,027,233	8,023,063	881.0%
経常収益計	159,121,763	151,347,197	7,774,566	105.1%
(2) 経常費用				
事業費				

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体	当会計期間	前会計期間	増減	備考
科目	自 至 令和03年4月1日～ 令和04年3月31日	自 至 令和02年4月1日～ 令和03年3月31日		
(集積)農地賃借費	3,500,910	4,866,761	-1,365,851	溝井R2迄、奈多一部機構に移行
(集積)事業雑費	5,531	5,531		区費
農地集積円滑化事業費計	3,506,441	4,872,292	-1,365,851	72.0%
(保全)諸材料費	4,863,384	3,218,540	1,644,844	水中ポンプ交換資材増、作業剤増
(保全)機械賃借費	118,910		118,910	ソクラー・トロッター、バックホ増
(保全)その他作業委託費	2,346,240	1,855,750	490,490	分散委託、水中ポンプ交換ポンプ電気外
(保全)事業雑費	2,420		2,420	
農地保全管理事業費計	7,330,954	5,074,290	2,256,664	144.5%
(高次)種苗費	6,356,150	7,409,292	-1,053,142	R2以降'代替小袋'増減
(高次)肥料費	289,329	245,430	43,899	
(高次)農薬費	920,397	649,316	271,081	TSWV予防、小袋'生産試験増
(高次)諸材料費	5,260,332	5,357,126	-96,794	水稲・野菜培土ポンプ等
(高次)委託栽培費	213,238	297,272	-84,034	生菓
(高次)出荷経費	2,353,922	758,966	1,594,956	小袋'圃整理荷増、ふれあい市場出荷経費
(高次)事業雑費	199,550	74,400	125,150	水稲配達作業・苗箱洗浄作業委託
高次元農業推進事業費計	15,592,918	14,791,802	801,116	105.4%
(eco)原材料	254,629	80,620	174,009	刈草
(eco)諸材料費	712,652	2,462,604	-1,749,952	小袋用袋
(eco)燃料費	556,710	315,611	241,099	作業機燃料
(eco)動力光熱費	1,870,588	1,094,922	775,666	電気料
(eco)作業委託費	4,227,935	2,326,086	1,901,849	場内作業・配達応援外
(eco)eco推進活動費	-735	-3,952	3,217	
(eco)堆肥化雑費	31,680	16,280	15,400	成分試験料
山香グリーンエコノット'事業費計	7,653,459	6,292,171	1,361,288	121.6%
杵築リース受託事業費計				-%
(公共)作業委託費	387,000	83,000	304,000	除草作業委託
(公共)請負委託仕入	353,180	144,117	209,063	害虫駆除剤、芝肥料増加
公共施設等管理事業費計	740,180	227,117	513,063	325.9%
事業原価計	34,823,952	31,257,672	3,566,280	111.4%
(事)給料手当	60,009,443	59,092,502	916,941	53名(職7職2臨5P16A23)
(事)退職給付費用	2,116,700	1,794,000	322,700	
(事)法定福利費	8,367,025	6,701,002	1,666,023	社会保険
(事)福利厚生費	1,695,516	2,057,904	-362,388	中退共外
(事)賞与	2,522,491	1,854,016	668,475	
人件費計	74,711,175	71,499,424	3,211,751	104.5%
(事)消耗品費	2,608,977	3,280,124	-671,147	各事業：事務、用具等
(事)宣伝広告費	133,650	120,956	12,694	コ：供給推進費
(事)通信運搬費	666,296	633,735	32,561	各事業：電話、切手代
(事)図書研修費	1,324,347	136,440	1,187,907	コ：産廃講習、ドローン講習5名
(事)事務委託費	2,181,989	1,108,444	1,073,545	各振込手数料、コ事務応援増
(事)租税公課	8,815,589	8,921,129	-105,540	各事業：印紙、自動車、固定資産税、外
(事)会費分担金	19,000	9,000	10,000	高次：ふれあい、小袋'部会費
(事)保守修繕費	5,102,025	4,670,788	431,237	コ：L27、ペローラ、ゆき天窓増
(事)保険料	1,871,688	1,794,636	77,052	施設、農機等、傷害
(事)水道光熱費	1,713,056	1,613,369	99,687	各事業：水道、電気
(事)賃借料	1,320,762	1,247,425	73,337	水稲苗、ハジ車両外
(事)消耗什器備品費	1,316,409	631,852	684,557	多面PC、ソクラー一式外
(事)車輛費	2,558,164	1,845,170	712,994	各事業：車検、整備費外修理減
(事)施設管理費	742,044	510,692	231,352	高次：コ：電気保安、警備保障
(事)燃料費	3,607,602	2,908,779	698,823	機械、設備燃料
(事)減価償却費	8,627,211	7,091,487	1,535,724	特定18種
(事)支払寄付金		581,177	-581,177	コファンド'指定管理納入金
(事)雑費	244,383	193,708	50,675	高次：コ：使用料コ：産廃更新外
その他事業経費計	42,853,192	37,298,911	5,554,281	114.9%
事業費合計	152,388,319	140,056,007	12,332,312	108.8%

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体 科目	当会計期間	前会計期間	増減	備考
	自 令和03年4月1日～ 至 令和04年3月31日	自 令和02年4月1日～ 至 令和03年3月31日		
管理費				
(管) 給料手当	1,949,411	2,293,056	-343,645	
(管) 法定福利費	378,138	371,684	6,454	
(管) 福利厚生費	50,395	86,248	-35,853	
人件費計	2,377,944	2,750,988	-373,044	86.4%
(管) 会議費	5,661	4,761	900	理事会・総会費用
(管) 消耗品費	114,000	109,891	4,109	事務消耗品
(管) 通信運搬費	71,296	68,141	3,155	通信、切手
(管) 図書研修費	35,976	31,476	4,500	新聞
(管) 事務委託費	845,030	1,087,444	-242,414	会計指導、税理士・社労士報酬、外
(管) 租税公課	23,800	24,000	-200	重量税
(管) 会費分担金	32,000	37,000	-5,000	安全運転管理
(管) 保守修繕費	162,310	210,287	-47,977	グーテン(メンテナンス)等以外
(管) 保険料	32,032	47,446	-15,414	傷害保険、自動車保険
(管) 水道光熱費	67,588	68,315	-727	
(管) 賃借料	154,736	468,797	-314,061	複合機、会計システム
(管) 消耗什器備品費	9,100	20,680	-11,580	
(管) 車輛費	49,335	48,000	1,335	車検
(管) 施設管理費	228,829	470,429	-241,600	警備保障、ゴミ収集、外
(管) 燃料費	69,117	55,176	13,941	車輛燃料
(管) 旅費交通費	92,000	64,000	28,000	役員費用弁償
(管) 雑費	14,351	14,743	-392	
その他管理費計	2,007,161	2,830,586	-823,425	70.9%
管理費合計	4,385,105	5,581,574	-1,196,469	78.6%
経常費用計	156,773,424	145,637,581	11,135,843	107.6%
評価損益等調整前当期経常増減額	2,348,339	5,709,616	-3,361,277	41.1%
当期経常増減額	2,348,339	5,709,616	-3,361,277	41.1%
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益合計				
(2) 経常外費用				
経常外費用合計				
当期経常外増減額				
他会計振替前当期一般正味財産増減額	2,348,339	5,709,616	-3,361,277	41.1%
税引前当期一般正味財産増減額	2,348,339	5,709,616	-3,361,277	41.1%
法人税、住民税及び事業税	618,700	1,106,700	-488,000	55.9%
当期一般正味財産増減額	1,729,639	4,602,916	-2,873,277	37.6%
一般正味財産期首残高	124,910,657	120,307,741	4,602,916	103.8%
一般正味財産期末残高	126,640,296	124,910,657	1,729,639	101.4%
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	1,000,000	14,686,364	-13,686,364	DJ11'p→T10
受取補助金等計	1,000,000	14,686,364	-13,686,364	
一般正味財産への振替額	5,813,795	4,387,901	1,425,894	132.5%
当期指定正味財産増減額	-4,813,795	10,298,463	-15,112,258	%
指定正味財産期首残高	92,937,030	82,638,567	10,298,463	112.5%
指定正味財産期末残高	88,123,235	92,937,030	-4,813,795	94.8%
III 正味財産期末残高	214,763,531	217,847,687	-3,084,156	98.6%

正味財産増減計算書
(内訳集計表)

法人名 公益社団法人 杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

科目	公益目的事業会計					収益等事業会計			法人会計	合計
	農地利用集積円滑化事業	農地保全管理事業	高次元農業推進事業	山香リゾートプロジェクト事業	杵築リース農園事業	共通	小計	公共施設管理事業		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益計									600	600
特定資産運用益計						884				884
受取会費計						2,500,000			2,500,000	5,000,000
事業収益										
農地利用集積円滑化事業収益計	3,776,454									3,776,454
農地保全管理事業収益計		36,153,521								36,153,521
高次元農業推進事業収益計			48,168,240							48,168,240
山香リゾートプロジェクト事業収益計				22,556,170						22,556,170
杵築リース農園事業収益計										
収益事業収益計									26,677,413	26,677,413
事業収益計	3,776,454	36,153,521	48,168,240	22,556,170					26,677,413	137,331,798
受取補助金等計	300,000	3,273,714	2,212,521	1,951,950						7,738,185
雑収益計	38	959,152	6,267,487	2,852					1,820,341	9,049,870
経常収益計	4,076,492	40,386,387	56,648,248	24,510,972	282	4,320,943	129,943,324	26,677,413	2,501,026	159,121,763
(2) 経常費用										
事業費										
農地集積円滑化事業費計	3,506,441									3,506,441
農地保全管理事業費計		7,330,954								7,330,954
高次元農業推進事業費計			15,592,918							15,592,918
山香リゾートプロジェクト事業費計				7,653,459						7,653,459
杵築リース受託事業費計										
公共施設等管理事業費計									740,180	740,180
事業原価計	3,506,441	7,330,954	15,592,918	7,653,459					740,180	34,823,952
人件費計	734,705	15,125,747	24,997,327	6,212,207						74,711,175
その他事業経費計	54,286	13,119,923	12,890,371	9,680,608						42,853,192
事業費合計	4,295,432	35,576,624	53,480,616	23,546,274					21,045,860	152,388,319
管理費										
人件費計										2,377,944
その他管理費計										2,007,161
管理費合計										4,385,105
経常費用計	4,295,432	35,576,624	53,480,616	23,546,274	282	14,443,513	131,342,459	21,045,860	4,385,105	156,773,424
評価損益等調整前当期経常増減額	-218,940	4,809,763	3,167,632	964,698			-1,399,135	5,631,553	-1,884,079	2,348,339
当期経常増減額	-218,940	4,809,763	3,167,632	964,698	282	-10,122,570	-1,399,135	5,631,553	-1,884,079	2,348,339

正味財産増減計算書
(内訳集計表)

法人名 公益社団法人札幌市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

科目	(自)令和3年4月1日～(至)令和4年3月31日現在										合計	
	農地利用集積円 消化事業	農地保全管理事 業	高次元農業推進 事業	公益目的事業会計 山香リゾート 事業	梓葉U-農園事業	共通	小計	収益等事業会計 公共施設管理事 業	法人会計	合計		
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用合計												
当期経常外増減額												
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-218,940	4,809,763	3,167,632	964,698	282	-10,122,570	5,631,553	-1,884,079	2,348,339			
他会計振替額												
税引前当期一般正味財産増減額	-218,940	4,809,763	3,167,632	964,698	282	2,512,971	-2,512,971	-1,884,079	2,348,339			
法人税、住民税及び事業税												
当期一般正味財産増減額	-218,940	4,809,763	3,167,632	964,698	282	-7,609,599	2,570,882	-1,955,079	1,729,639			
一般正味財産期首残高	6,720,247	84,409,543	96,811,843	4,299,252	27,175	-96,219,074	96,048,986	-22,436,876	124,910,657			
一般正味財産期末残高	6,501,307	89,219,306	99,979,475	5,263,950	27,457	-103,828,673	97,162,822	-24,391,955	126,640,296			
II 指定正味財産増減の部												
一般正味財産への振替額		1,649,324	2,212,521	1,951,950			5,813,795		5,813,795			
当期指定正味財産増減額		-649,324	-2,212,521	-1,951,950			-4,813,795		-4,813,795			
指定正味財産期首残高		7,008,257	6,234,769	13,324,675	14,100,000	22,269,329	62,937,030	30,000,000	92,937,030			
指定正味財産期末残高		6,358,933	4,022,248	11,372,725	14,100,000	22,269,329	58,123,235	30,000,000	88,123,235			
III 正味財産期末残高	6,501,307	95,578,239	104,001,723	16,636,675	14,127,457	-81,559,344	155,286,057	53,869,429	214,763,531			

財 産 目 録
(場 所、物 量 等)
(令和4年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
【資産の部】			
I 流動資産			
現金	手元保管	公1:運転資金として公1Y42,560	42,560
普通預金(一般:公益共通、収益、法人) ※当該預金残高は、当科目とその他の積立資産(機械・設備等取得資金)を合算した額である。	JAおおいた山香支店	公1:収1:法人会計の共通財産口座No:0001015 公1:運転資金として ¥34,796,626 (うち公益事業に使用する寄付金 ¥10269329) 収1:運転資金として ¥13,504,176 法人:運転資金として ¥0	48,300,802
普通預金(作業受委託:農地保全)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0001651	12,599,293
普通預金(育苗:高次元)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0001805	4,600,452
普通預金(公益:共通)	大分県信用組合	公1:運転資金として 口座No:4008638	1,298,073
普通預金(法人)	大分銀行山香支店	法人:運転資金として 口座No:5028035	2,203,169
普通預金(法人)	ゆうちょ郵貯銀行	法人:運転資金として 口座No:17200-18584731	5,001,032
普通預金(高次元)	JAべっぶ日出亀川駅前支店	公1:運転資金として 口座No:0021111	441,139
普通預金(高次元)	JAべっぶ日出日出支店	公1:運転資金として 口座No:0011743	5,696,667
普通預金(高次元)	JAおおいた杵築支店	公1:運転資金として 口座No:0032043	5,468,016
普通預金(農地:集積)	JAおおいた杵築市店	公1:運転資金として 口座No:0032214	2,797,271
普通預金(杵築:保全)	JAおおいた杵築支店	公1:運転資金として 口座No:0043423	4,934,354
普通預金(eco)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0005606	18,344,664
普通預金(リース特会)	JAおおいた杵築支店LE	公1:運転資金として 口座No:0032203	123,405
普通預金			
普通預金計			111,808,337
預金計			111,808,337
事業未収入金(集積)	農地利用集積円滑化	公1:農地貸借に関する未収金	782,640
事業未収入金(保全)	農地保全管理	公1:農地保全に関する未収金	875,726
事業未収入金(高次)	高次元農業推進	公1:育苗に関する未収金	8,010,506
事業未収入金(eco)	山香グリンエコネット	公1:家畜糞尿処理・堆肥化に関する未収金	3,617,621
事業未収入金(リース)	杵築リース農園	公1:リース農園使用に関する未収金	2,521,103
事業未収入金(公益:共通)	公益目的(共通)		0
事業未収入金(収益:公共)	公共施設等管理	収1:収益活動に関する未収金	5,157,763
事業未収入金計			20,965,359
未収収益		公1:定期預金(特定資産)未収利息 ¥151 法人:定期預金(基本財産)未収利息 ¥11	162
棚卸資産:諸材料		公1:農地保全・高次元・堆肥、収1に関する棚卸資産	4,386,922
棚卸資産:原材料		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	18,150
棚卸資産:仕掛品		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	1,575,804
棚卸資産:製品		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	4,963,782
たな卸資産計			10,944,658
貯蔵品:切手	手元保管	公1:¥12,844、収1:¥504、法人:¥252	13,600
貯蔵品:収入印紙	手元保管	公1:施設利用等契約時に使用	1,200
貯蔵品計			14,800
立替金		公1:大分県産業廃棄物処理業協会・処理伝票	5,200
流動資産合計			143,781,076
II 固定資産			
1 基本財産			
基本財産定期預金(基)	JAおおいた山香支店	法人の運転資金の財源とするため保有運用益を管理費の財源として使用 口座No:00677466	30,000,000
基本財産合計			30,000,000
2 特定資産			
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的費用の財源として使用 口座No:06019161	12,000,000
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、リース農園事業費用に備えたもの 口座No:07336715	14,100,000
特定資産定期預金計(特)			26,100,000
構築物(特)(指・一)	ハウス設備	公1:公益目的事業に使用	24,756,031
車輛運搬具(特)(指・一)	軽トラック、軽箱バン、マニプロレッグ	公1:公益目的事業に使用 ¥14,014,803 収1:収益目的事業に使用 ¥1,699,691	15,714,494
機械装置(特)(指・一)	産業用無人刈割ター、田植機、コンバインほか	公1:公益目的事業に使用	77,497,775
栽培特許料(特)(指・一)	輪菊栽培特許料	公1:公益目的事業に使用	615,000

財 産 目 録
(場 所、物 量 等)
(令和4年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
機械・設備取得資金(特)(指・一)	特定資産取得・改良資金 JAおおいた山香支店	特定資産所得・改良資金として積み立てる資産であり、資産取得資金として管理されている。 公1:定期預金 口座No:09643510 ¥26,716,304 公1:普通預金 口座No:0001015 ¥1,113,836 ※普通預金口座分定期預金積立前	27,830,140
減価償却累計額(特)(指・一)(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-87,185,873 収1:収益目的使用資産減価償却 ¥-1,699,689	-88,885,562
特定資産合計			83,627,878
3 その他固定資産			
構築物	ジャワ-ユニット	公1:公益目的事業に使用	210,000
工具器具備品		公1:公益目的事業に使用 ¥10,500 法人:管理目的として使用 ¥32,550	43,050
機械装置	育苗台車、ディスプレイ パネル等	公1:公益目的事業に使用 ¥5,502,980 収1:収益目的事業に使用 ¥1,068,000	6,570,980
電話加入権	2回線	法人:管理目的として使用	152,880
減価償却累計額(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-4,213,331 収1:資産減価償却 ¥-1,067,998	-5,281,329
その他固定資産合計			1,695,581
固定資産合計			115,323,459
資産合計			259,104,535
【負債の部】			
I 流動負債			
事業未払金(集積)	農地賃借料ほか	公1:農地賃借に関わる未払金	272,553
事業未払金(保全)	修繕費ほか	公1:農地保全に関わる未払金	843,289
事業未払金(高次)	諸材料ほか	公1:育苗に関わる未払金	5,232,169
事業未払金(eco)	通信運搬費	公1:家畜糞尿堆肥処理に関わる未払金(直接)	9,378
事業未払金(リース)	施設更新料ほか	公1:リース農園使用に関わる未払金	2,633,877
事業未払金(公益:共通)	法定福利費ほか	公1:公益目的の共通に関わる未払金	3,603,260
事業未払金(収益:公共)		収1:収益活動に関わる未払金	2,260,952
事業未払金計			14,855,478
管理外(法人)		法人会計に関わる未払金	169,516
エコポイント	車輛費ほか	公1:家畜糞尿堆肥処理に関わる未払金(立替)	886,213
未払金計			1,055,729
預り金	源泉徴収税、住民税	公1に関わる預り金	192,306
賞与引当金	職員に係るもの		2,522,491
流動負債合計			18,626,004
II 固定負債			
退職給付引当金		公1:退職給付引当金	25,715,000
固定負債合計			25,715,000
負債合計			44,341,004
正味財産			214,763,531

令和4年度

株	式	会	社	き	っ	と	す	き
事	業	計	画	書				

杵 築 市

令和4年度事業計画

令和3年度は「設立混迷期」を抜け出し、「安定成長期」に入り、「大分県1働き甲斐のある会社」「大分県1働きやすい会社」「大分県1働き続けたい会社」、そして「大分県1市民に愛される会社」を目指す宣言を行った。

具体的には中・長期的経営計画の再策定、内部統制の抜本的見直しを行い、就業規則や給与規定など会社経営にかかわる重要規則や規定を徹底的に整備した。

能力、経験、年齢に応じた「新・給与体系の構築」による社員の労働モチベーションの向上、並びに退職金制度やあらたな福利厚生制度の導入などによる社員の労働持続性の強化が目的である。

令和4年度はこの流れに乗り、全社一丸となって「収益性」「公益性」「持続性」の地域商社の3大存在意義を担保するために以下の具体的業務に邁進する。

【杵築ブランド事業部】

3年計画で商工観光課様から受託している「食のマイクロツーリズム」事業の2年目として、新たな加工商品の開発とその近隣の商業施設への拡販を行いさらなる杵築市への観光誘客を図る。

加工消費数、完売先数、実販売額にはそれぞれの年度でしっかりとしたKPIが設定されていますので、その目標をクリアすべく鋭意努力を重ねたいと考えている。

杵築ブランド関連事業としては、昨年同様12月時点での杵築ブランド全認定品を網羅した「杵築ブランドバイヤーズガイド作製」業務を行う。

両者での売上は11,000千円強を予定。

自主事業は昨年度はコロナ関連で様々な補助金が出て、売り上げで8,000千円、収益で1,000千円ほど上積みが出来たが、ことしは今のところ見込めないで、一昨年強の売上強の13,800千円を予定している。

【ふるさと納税事業部】

商工観光課からの以下の委託事業遂行を通して、寄附受付サイトの運営や寄附情報の管理、返礼品の発注・発送、また各種寄附証明の発行業務を行う。

また、寄附の増大を図るため、返礼品揮発支援や新規事業者の開拓、広告制作、各種プロモーションの実施を行い、景気動向や返礼品の偏りなどに左右されない寄附総額の安定化・平準化を図り寄附総額8億円を実現する。

1. ふるさと納税包括代行業務
2. ふるさと納税関連書類発送等業務

特記事項として、来年度から導入が予定されている「インボイス制度」への対応として、返礼品額を預かり金として処理する契約を市側と締結したので、売り上げは前年度の260,000千円から35,000千円と大幅にダウンする。

【ドローン事業部】

コロナ禍が収束し次第、観光協会と連携してドローンの魅力を付加した観光施策（ドローンパスポート、メモリアルドローン、VRドローン体験）への協力、ドローン撮影事業、機材販売事業、国・県・市の補助事業への参画などを通してドローン事業の収益化を目指す。

昨年コロナ禍で全ての計画が持ち越しとなった、プログラミング体験を通しての修学旅行の杵築への誘致、またドローンサッカープロジェクトのプロデュースなど、同事業部をコンテンツ部門として拡大する機会を探る年とする。

【自主事業】

「るるパーク」との協働を通して、旧杵築市への観光誘致などの新たなビジネスモデルの構築を模索し、実収入増につなげる。

令和4年度

株式会社	きつとすき	
予	算	書

令和4年度株式会社きっとすき予算

【売上】

単位：千円

種別	事業内容	金額
委託	ふるさと納税事業部	34,505
委託	杵築ブランド事業部	11,106
自主	杵築ブランド事業部	13,847
自主	ドローン事業部	4,000
	①合計	63,458

【支出】

単位：千円

種別	項目	金額
委託	ふるさと納税事業部	4,955
委託	ブランド事業部	4,503
自主	ブランド事業部	10,841
自主	ドローン事業部	500
経費	長期未払金	1,128
	支払手数料	60
	諸会費	39
	役員報酬	6,000
	給料手当	22,340
	法定福利費	4,200
	厚生費	175
	研修費	0
	リース料	48
	地代家賃	228
	事務用消耗品費	289
	通信費	469
	租税公課	50
	接待交際費	256
	保険料	50
	備品消耗品費	133
	管理諸費	589
	車両費	180
	雑費	116
	水道光熱費	444
	支払利息	99
	労働保険	108
	修繕	15
	旅費交通費	100
	寄付金	0
	広告宣伝費	1,000
	経費合計	38,116
	②合計	58,915
	経常利益①-②	4,543

令和3年度

株 式 会 社	き っ と す き
事 業	報 告 書

令和3年度報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

株式会社きつとすきの4期目は「杵築ブランド事業部」「ふるさと納税事業部」が市の商工観光課からの委託事業と商社自らが企画・実施する「自主事業」に、「ドローン事業部」は国・大分県からの委託事業と「自主事業」にそれぞれ取り組んだ。

I. 杵築ブランド事業部

1. 委託事業

i. 商工観光課委託業務

1) 杵築ブランド認定品バイヤーズガイドの作製

<事業の目的>

県内外の量販店や百貨店及び商社のバイヤー、また消費者に対する杵築ブランド及び杵築ブランド認定品（以下、認定品という）の認知度向上、販路拡大を図るために、令和3年12月時点における認定品の掲載カタログを、商談等にも使用できる内容で制作する。

<実施概要>

1. 撮影

令和3年度に新たに杵築ブランドに認定された4品目（6品）の写真撮影に必要な認定品等の手配を地域商社が行い、杵築市の株式会社森美が監修の基、大分市で撮影を行った。

2. デザイン

内容：新たに追加する4ページを加えた全体の並べ替え、その4ページに関する掲載写真の選定、キャッチコピー及びボディコピーの作成、商品インデックスの作成を行った。また、昨年度までの掲載内容で変更が必要な点に関する修正を行った。

3. 校正

内容：文章の校正や写真の修正を行い、入稿したデータに関して、間違いや漏れ等を無くす為に、文字校正・色校正を行った。

4. 制作物

部数 : 1200部

用紙 : マットコート 〈110〉
仕様 : A5判フルカラー36頁
印刷 : オフセットカラー印刷
仕上げ : 中綴じ製本

2) 食のマイクロツーリズム事業

<事業の目的>

杵築市（以下、市という。）は、農産物では米・イチゴ・柑橘・茶の生産量が、水産物ではハモ・エビ類・カタクチイワシの水揚げ量がそれぞれ豊富である。これら一次産品は生産の過程において、サイズや大きさ、形や見た目などが規格に適合しないもの（以下、規格外品という。）が一定の割合で発生してしまうが、この規格外品を有効活用する事は、一次産品の生産に携わる人々の収入増大にも繋がる為、市の重要な課題となっている。

一方、現在コロナ禍によって市を訪れる観光客の減少が顕著であり、これによって観光需要を当て込んでいる市内の観光業ならびに飲食業が受けている被害は甚大で、飲食店に食材を納めている市内の農家や漁業者、食品加工業者などの周辺産業にもその被害は及んでおり、この対策も急務である。

コロナ禍によって人々の移動が制限される中、地元や近隣への宿泊観光や日帰り観光として『マイクロツーリズム』が新たに提唱され、これを推奨する動きが全国で加速している。市単独で『マイクロツーリズム』需要を取り込む事は、現時点では困難であるが、全国でも有数の観光地である『別府』や『湯布院』（以下、県内観光地という。）はマイクロツーリズムの集客力を十分に有しており、これらを訪れた観光客を市内に誘致する事は県内観光地と市の位置関係からみても、可能性はすくなくないと考えた。

そこで、まず市内で生産される一次産品の規格外品を有効活用するために、飲食店が使用する食材や食品メーカーが使用する原材料として使用しやすい形態（波線部以下、業務用加工品という。）に加工する。次に、県内観光地のホテルや飲食店などのメニューやそこで販売される土産品などに、本事業で新たに開発した業務用加工品（波線部以下、開発品という。）を使用してもらい、県内観光地のホテルや飲食店において、開発品を使用したメニューや土産物を販売する際に、市の観光情報を同時に発信してもらおう企画を立案した。

これによって、県内観光地に訪れた観光客を市内へ誘致する事ができれば、上述のようにコロナ禍によって甚大な被害を受けている市内事業者への経済的な波及効果をもたらす事ができる、との考えから本事業に取り組んだ。

<実施概要>

1.業務用加工品の開発及びその販路開拓

(1) 産品調査及び仕入れルートの確立

まず、市内で一次産品の集荷を担っている JA おおいた東部事業部ならびに漁協に対して、市内産一次産品の産出状況を聞き取り、本事業への理解を求め、原料の調達などに関する協力を要請した。

(2) 需要調査

聞き取り後に市と協議し、本事業の対象を柑橘・イチゴ・ハモに決定した為、これらがどのような使われ方をしているか、どのようなものがあれば使いたいかについて、実際にこれらを食材として使用する飲食店等に対して調査を行った。調査終了後に市と協議した結果、開発品は汎用性が高い加工形態（柑橘はジュースとアイスを含む。）であるべきと結論付けた。

(3) 加工に関する調査

県の機関やコンサルタント等に対して技術的側面について相談して、業務用加工品の製造にあたり注意すべき点はなにか、柑橘・イチゴ・ハモに適した加工形態はどのようなものがあるか、さらにはその形態に加工するために必要な事はなにか等を確認し、製造委託先の条件として、①小ロットでの受け入れが可能である、②市内ないし県内所在である、③特色のある技術を有している、の3つを設定した。

2. 開発プロジェクト

(1) 製造委託先の探索

上記で設定した条件を備えた加工業者を探索した結果、オレンジ農園（所在地：市内）とフードスタッフ（所在地：由布市）の2社が候補に浮上した為、この2社に本事業への協力を求めた。

(2) 試作品の作成及び業務用加工品の完成

オレンジ農園に美娘のシロップの試作を、フードスタッフに美娘のアイスの試作を依頼した。最終的に美娘のシロップは完成には至らなかったが、果汁を30%使用した美娘ミルクアイスが完成した。この他、冷凍イチゴの製造を目指して試作を行ったが、予想以上に技術面で難しい事が判明し、年度内の完成は断念した。

3. 近郊ホテル等の窓口開設

美娘ミルクアイスの商談を、ホテル晴海・ホテル白菊の2社と実施し、ホテル白菊において令和4年度から取り扱われる事が決定した。この他、1.(2)で実施した需要調査の中で、既存の産品であるかぼすジンジャーハニーと骨切りハモに軽微な変更を加える事によって、新たに取引を開始できる可能性がある事が判明した為、最優先で取り組んだ結

果、ホテル晴海と業務用及びPBのかぼすジンジャーハニー並びに骨切りハモの取引きが、ANA インターコンチネンタルと骨切りハモの取引きが始まった。

4. 業務用加工品を核とした杵築市内への観光客誘致

(1)従業員向け教育プログラム及び誘客数の測定手段の作成

市内への観光客誘致は、業務の性質が「観光」にあたる為、その知見を有する杵築市観光協会にまずは相談した。観光協会の助言もあり、「市内で使えるクーポンを挟んだリーフレットを、県内観光地のホテルや飲食店で働く従業員に配布してもらおう」という図式で観光客に市内への立ち寄りを促す事とし、これに必要な市の観光リーフレットと杵築観光クーポンを作製した。杵築観光クーポンは、本事業によって杵築を訪問した観光客数の測定手段としても用いる事とした。

(2)プログラム実施に関する交渉及びプログラム試行

市内への誘客を目的としたリーフレットの配布に関する研修の実施について交渉した結果、ホテル晴海ならびにホテル白菊における研修が実現した。両社からはリーフレットの配布についても承諾をもらい、令和4年度からの実施が決定した。

3.総括

改めて書くまでもない事だが、商品の取引きを開始するためには商談が必要で、商談を行うためにはサンプルが必要となるが、サンプルの製造には商品のレシピが必要であり、レシピの決定には試作を重ねる必要があるが、これら全ての工程には原料が必要となる。また、開発品の販売を進める事によって市内一次製品の規格外品の流通量を増大させる事が事業趣旨の一つであるが、そのためには、より多くの取引きに結び付ける必要があり、より多くの取引きに対応するためには緻密な販売計画や生産計画が必要となる。本事業で対象とした一次製品は、すべて流通時期が限定されており、その限られた期間内に、開発に係る全ての工程を進め、生産計画や販売計画に基づいた原料の確保を完了させておく必要がある事は、事業の着手段階で覚悟していた事とは言え、想像していた以上に困難であった。これまで市内事業者を支援する立場として商品開発に携わる事はあったが、主体となって行う商品開発は初めての経験である地域商社にとって、本事業はこの重要性について認識し、技術面や加工業者等の加工品製造に関する知見を広げる、またとない機会となった。今回、新たな商品の開発を円滑に進められる下地を身に付ける事ができた為、来年度は、開発品の販売により力を注いで取り組んでいく。

2. 自主事業

杵築ブランド事業部として、市内産品の販売を行った。

市内事業者及び地域商社の恒常的かつ持続的な売上確保という観点から、フェアやイベントなどにおける産品販売による売上確保から脱却を図った前年度を踏襲し、土産物店などへの販売、ふるさと納税及びECサイトなどにおける販売に重点的に取り組んだ。

特筆すべき取り組みとして、6月、コロナ禍によって行き場を失くした農林水産物に国の補助金を充てて拡販を図る事業「ふるさとチョイスにおけるチャレンジ応援品」に参画し、大分水産の温泉うなぎを展開した。同事業は、様々な制約により生産者単体で参画する事は困難であったが、地域商社が仲介する事で参画が可能になった。ふるさと納税における前年同月の温泉うなぎの販売実績が、101尾 253千円であったのに対し、同事業への展開により1600尾（昨年対比 1,584%）を正価で完売し、4,000千円（1,581%）の売上確保（大分水産）を実現した。また、同年同月の杵築市への寄附額 32,369千円の1/3にあたる 10,749千円がチャレンジ応援品からの寄附であった為、本事業への参画は事業者支援のみならず、市への貢献にも繋がった。

また、令和3年6月・同9月・令和4年3月、コロナ禍によって売上げが減少した事業者への救済措置として、杵築市がおんせん県おおいたオンラインショップで使用できるクーポンを発行したが、同期間中の同サイトにおける地域商社の売上げ高は 7,676千円に上がった。システムへの対応が難しい事業者は同サイトへの出品が困難であるが、地域商社が仲介する事により、こうした事業者の産品を同サイトへ展開する事が可能になっている。地域商社は同サイトで20事業者の180品以上仲介しているが、7,676千円の売上はこうした地域商社の取組みが無ければ生まれる事の無かった売上げである。

令和3年度の実績は以下の通りである。

(単位：千円/税込)

	令和3年度	令和2年度	増減	前年対比
売上高	23,188千円	13,710千円	9,478千円	169.1%
荒利益高	3,952千円	2,576千円	1,376千円	153.4%
荒利益率	18.5%	20.4%	▲1.9%	90.7%

令和3年度取引先（五十音順）

販売先（23社）

- ・海地獄
- ・海と日本プロジェクト
- ・大分航空ターミナル
- ・大分農業文化公園
- ・大木化粧品
- ・杵築市（ふるさと納税）
- ・杵築ふるさと産業館
- ・紀ノ國屋
- ・グローバルフーズ
- ・坐来
- ・玉の湯
- ・峠たていしの館
- ・サンリッチ
- ・デンケン
- ・錦屋商事
- ・ホテル白菊
- ・ホテル晴海
- ・松山堂
- ・リ・クリエイト（別府湾サービスエリア）
- ・ANA インターコンチネンタル
- ・NATIONAL
- ・OKATTE
- ・OH！
- ・その他

仕入先（32社）

- ・綾部味噌醸造元
- ・伊藤園
- ・今村商店（お茶のとまや）
- ・今村農園
- ・大分水産
- ・岡本商工（萬力屋）
- ・オレンジ農園
- ・絆屋
- ・きつき紅茶
- ・杵築七島蘭マイスタークラブ
- ・きつき茶生産組合
- ・杵築ふるさと産業館
- ・木付や
- ・木戸農園
- ・九州乳業
- ・河野打刃物店
- ・椎茸問屋 徳一
- ・新庄農地利用組合
- ・森美
- ・高橋水産
- ・中野酒造
- ・豊予農場
- ・松山堂
- ・宮部商店（焼肉みやべ）
- ・木工房矢吹
- ・山浦地区まちづくり推進協議会
- ・山香ゆうきの会
- ・やーやまや
- ・AMC
- ・JA おおいた東部事業部
- ・JA フーズおおいた
- ・JF おおいた杵築支店

II. ふるさと納税事業部

1. 委託事業

1) 令和3年度の寄附実績について

令和3年度の杵築市ふるさと納税の寄附実績は824,435,370円であった。

約99%の寄附受付がポータルサイト経由となり、「ふるさとチョイス」「楽天市場ふるさと納税」「さとふる」「ふるなび」「ANAのふるさと納税(2021年6月オープン)」計5つのポータルサイトを包括代行業務の一環として運用を行った。

令和2年度の寄附実績は686,923,484円であり、前年度比は約120%となった。

2) 令和3年度に行った施策

(1) 新規返礼品提供事業者開拓

新規開拓事業者数：9

- ・阿部辰酒舗
- ・木工房矢吹
- ・宮川農園
- ・伊藤農園
- ・株式会社松山堂
- ・やーやまや
- ・みのり村 ワークセンター「誠」
- ・新電力おおいた株式会社
- ・学校法人ザイナスアカデミー(田北調理師専門学校)

(2) 返礼品開発及びポータルサイトへの掲載

新規開拓を行った事業者の返礼品開発だけでなく、既存事業者においても新たな返礼品の開発を行った。

返礼品への申込数を増やすために、過去の申込データを鑑み、品の内容量、単価設定、組み合わせを返礼品提供事業者と話し合いし、返礼品開発を行った。

また、杵築市の寄附金のうち最も多くの割合を占めるふるさとチョイスだけでなく、成長

著しい楽天市場ふるさと納税、さとふるを始めとした他のポータルサイトでも積極的に掲載返礼品数を増やす取組を行った。

年末、12月31日時点での各ポータルサイトの返礼品掲載数は下記のとおりであった。

ふるさとチョイス・・・737品
楽天市場ふるさと納税・・・541品
さとふる・・・392品
ふるなび・・・458品
ANAのふるさと納税・・・422品

(3)漁協提供の鱧（はも）の返礼品受付開始

大分県漁業協同組合杵築支店が美濃崎漁港の加工工場で行う鱧を返礼品として今年度新に受付開始した。

品揃えは下記3品目を用意し、仕入れ及び出荷はきつとすぎが行った。

- ・「しゃぶしゃぶセット（切身500g、ポン酢、もみじおろし、だしつゆ付属）」・・・寄附金額10,000円
 - ・「1本物 骨切り切身（500g×2）」・・・寄附金額10,000円
 - ・「1本物 骨切り切身（500g×3）」・・・寄附金額15,000円
- 令和3年度1年間で受け入れた寄附金額は合わせて4,765,000円で465件の申込があった。

(4)農林水産省の補助事業を活用した返礼品の開発

農林水産省の補助事業「令和2年度国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業」のうち『創意工夫による多様な販路の確立』を活用し、通常より金額に対して量目の多い返礼品として市内事業者大分水産(有)の温泉うなぎ蒲焼を下記4品目の品揃えで受付を行った。

- ・「うなぎの蒲焼140g×2尾」・・・寄附金額14,000円
- ・「うなぎの蒲焼140g×3尾」・・・寄附金額20,000円
- ・「うなぎの蒲焼140g×4尾」・・・寄附金額27,000円
- ・「うなぎの蒲焼140g×6尾」・・・寄附金額40,000円

6月1日（火）～6月27日（日）までの約1か月間で蒲焼1600尾が完売し、寄附金額は合わせて10,749,000円で530件の申込があった。

きつとすぎでは返礼品の掲載作業だけでなく、補助事業の実施者となり、補助金申請及び事業完了報告を行った。今回の農林水産省の補助事業の参画条件の上で大分水産(有)が単体

で事業実施者になることはできなかつたため、きつとすきが事業実施者となつたことは地域商社として市内事業者及び市への寄与へ繋がつた。

(5)チラシの作成及び配布

令和3年度は販促活動としてふるさと納税応援パンフレット（チラシ）を計10,000部3種類（夏号、秋号、冬号）作成し、配布を行つた。

仕様・規格

- ・サイズ：A4判縦仕上がり（A3二つ折り）
- ・ページ数：4ページ
- ・印刷方法：フルカラー

配布先

夏号（計6000部）		秋号（計2000部）	
商工観光課	200	商工観光課	200
きつとすき（郵送希望寄附者含）	100	きつとすき（郵送希望寄附者含）	100
観光協会（産業館入口・杵築駅）	200	観光協会（産業館入口・杵築駅）	600
ふるさと便（ふるさと産業館）	200	農業文化公園	100
農業文化公園	100	きつとすき（返礼品同梱）	500
今村農園	100	OEC	200
JA柑橘選果場	100	九州博報堂	200
杵築高校十王会	5000	大分トヨペット	100

冬号（計 2000 部）	
商工観光課	200
きつとすき（郵送希望寄附者含）	100
観光協会（産業館入口・杵築駅）	400
ふるさと便（ふるさと産業館）	200
豊予農場（返礼品同梱）	300
JA 杵築柑橘選果場（返礼品同梱）	300
今村農園（返礼品同梱）	200
きつとすき（返礼品同梱）	200
若栄屋	100

2. 次年度に向けて

令和4年度に向けては、令和3年度とは異なる視点で行う柔軟な広告運用が重要と考える。これまで集客の柱となっていたポータルサイト内広告は、令和4年度から広告規模が大幅に縮小されるほか、広告のほとんどが全国の自治体による抽選形式であるため、抽選結果によって出稿の有無が左右される不安定な側面がある。そのため令和4年度からは令和3年度と同等の広告出稿がポータルサイト内で叶わない場合は、ポータルサイト以外の広告媒体を通じて杵築市ふるさと納税へのアクセス数を増やす展開が必要である。

また、掲載する返礼品については、申込が伸びた際にいかに在庫を切らさない運用するかが重要と考える。

今後も、各ポータルサイトの担当者との連携、マーケットの動向を捉えた戦略策定がふるさと納税寄附額向上のためには不可欠であると考え。返礼品提供事業者や関係機関と協力した、地域商社であるが故に実現可能なふるさと納税の運営を行い、ふるさと杵築応援寄附金事業の促進のため邁進していく所存である。

Ⅲ. ドローン事業部

1. 委託事業

i. 国並びに大分県委託業務

国並びに県の委託事業に県内のドローン事業者と協働し参画した。

(1) 経産省発の委託事業・地域特性、拡張性を考慮した無人航空機運航管理システムの実証事業・NEDO『ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会のプロジェクト』

第一回実証を8月23日～8月27日、第二回実証を10月25日～10月27日にて大分農業文化公園(るるパーク)で実施した。

大分農業文化公園を一つの農村とみなし、無人航空機の運航管理システムを用いながら、農村地域で想定される無人航空機の様々なユースケースを平常時と災害時に分けて飛行を実施した。県内では初めての試み。

公開実証実験に先立ち講演会も開催され、地域での取組内容を弊社から発表した。この模様はテレビ局・新聞社並びにドローン関連メディアにとりあげられた。

(2) 一般財団法人 環境優良車普及機構発の委託事業・『空飛ぶおおいた和牛』ドローンBBQ デリバリー実証実験・ドローンイベント

1月の毎週土曜日、神田楽市～大分農業文化公園の区間にてBBQ食材の配送実験を行いドローン物流による「体験型観光サービス」の提供に向けた計画策定を行う実証実験を行った。ドローンを生かした観光振興の方策を探り、物流の効率化と利用者のニーズを検証することが目的であった。

実証事業と並行して「ドローンを見る・知る・遊ぶ!」と題したイベントも1月8日・9日に行われ、弊社はVRゴーグル空撮体験を担当した。

両日ともに約1,500名の来場者となりドローンによる集客効果の検証も計れた。

この模様はテレビ局・新聞社並びにドローン関連メディアにとりあげられた。

(3) 大分県発の委託事業・ドローン操縦者育成事業

災害時の情報収集等にドローンを機動的に活用できるようにするため、必要なドローン機材を調達するとともに、県職員のドローン操縦者を育成し、ドローン産業を振興する大

分県の行政業務でのドローン活用体制の強化を図ることを目的に実施した。ドローン1機の納品と災害時の被害状況を空撮する業務に従事する職員が習熟すべき内容の講習動画を2本作成し納品した。

(4)大分県東部振興局発の委託事業・おおいた暮らし交流会 in 杵築市（移住者交流会）

同事業は杵築市及び大分県内に移住して来た方の交流を図る目的として行われた。12月19日、場所は上村の郷、参加者は16名であった。

オリエンテーション後、体育館にて操縦体験・グラウンドにてドローンカメラと連動したゴーグルをかけて、空からの景色を楽しんでいただいた。

2. 自主事業

(1)ドローン検定講習会

国土交通省認定機関の検定講習会を2日間の日程で5月・6月・8月・9月・11月に実施。25名参加。1日目の学科講習に関してはZoomを使ったオンラインで実施した。

2日目の実技講習は杵築市山香『上村の郷』にて実施した。

コロナ禍の中、感染症対策を講じながら実施した。

(2)ドローン講師派遣

- ・5月杵築小学校3年生社会見学『空から住んでいる街を見てみよう』
- ・8月法政大学『地方共創プログラム』オンライン講演(きつき空飛ぶ観光協会)
- ・8月JC別府こどもドローン操縦体験 in 志高湖
- ・11月東院内まちづくり協議会主催、小学生ドローン講座及び操縦体験

(3)ドローン空撮業務

- ・7月山香盆踊り撮影
- ・10月・11月由布市小学校修学旅行撮影
- ・11月大分農業文化公園コキア撮影
- ・12月今村農園ホームページ作成用動画撮影
- ・3月東院内まちづくり協議会動画編集
- ・3月杵築幼稚園撮影

(4)空撮映像提供

令和3年度大分ふるさとCM大賞作品に杵築城の空撮動画を提供した。
作品名：きつきスゴロク道中

令和2年度に続き杵築市が大賞に選ばれた。
OABで年間100本放送される。

IV. その他

1. 組織改編と人員の拡充

ふるさと納税事業部の業務拡大に伴い、別表の通り組織改編を行い、正社員2名の新規雇用を実現した。
(別表資料1.)

2. 内部統制の抜本的見直し

昨年の株主総会で約束した内部統制の抜本的見直しに着手、以下の重要規則、規約、規定を大幅に改定した。

- ・就業規則

全16条に及ぶ改定を実施し、働きやすい会社、働き甲斐のある会社を実現した。
具体的には退職金制度の導入や福利厚生制度（一般財団法人大分県東部勤労者福祉サービスセンター）への加入など。

- ・給与規定

給与テーブルの抜本的見直しを行い、業務、経験、年齢に応じた給与体系を実現した。
また賞与を明文化、決算賞与と合わせて社員個々人の年度実績に報いる制度を新たに導入した。

- ・パートタイム労働者規定

パートタイムから正社員への登用の規定を見直し、パートタイム労働者の条件改善と就業意欲の向上を図り、地元雇用の拡大につなげた。

3. 各種団体での講演

地域商社の成功事例として各種団体からの講演依頼に対応した。

- ・大分県議団視察（令和3年5月14日）
- ・杵築市議団視察（令和3年12月10日）
- ・佐伯市役所職員視察（令和4年5月11日）

4. おかえりの唄」プロジェクトの総合プロデュース

「おかえりの唄」プロジェクトの更なる情報発信として、「JR 杵築駅発着チャイム」、「17時の時報チャイム」、「市役所の電話待ち受け音」を同曲に変更することを企画・実現し、倍旧のメディア露出につなげ、杵築市そのもののブランド価値の向上に貢献した。

(別表資料 2.)

令和3年度

株 式 会 社	き っ と す き
財 務	諸 表

貸借対照表

代表者 大蔵 賢

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
(資 産 の 部)				
I 流 動 資 産	(47,998,605)	(89.5)	(62,192,313)	(88.4)
現金及び預金	20,683,205	38.6	32,841,461	46.7
売掛金	26,843,434	50.0	28,784,993	40.9
棚卸資産	576,716	1.1	684,959	1.0
立替金	2,150	0.0	0	0.0
貸倒引当金	△ 106,900	0.2	△ 119,100	0.2
II 固 定 資 産	(5,643,681)	(10.5)	(8,122,278)	(11.6)
有形固定資産	(5,643,681)	(10.5)	(8,122,278)	(11.6)
工具、器具及び備品	1,709,985	3.2	1,662,630	2.4
リース資産	3,933,696	7.3	6,459,648	9.2
無形固定資産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
投資その他の資産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
III 繰 延 資 産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
資産の部合計	53,642,286	100.0	70,314,591	100.0

科 目	前 期 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
(負 債 の 部)				
I 流 動 負 債	(20,149,770)	(37.6)	(25,974,848)	(36.9)
買 掛 金	11,971,742	22.3	13,510,143	19.2
未 払 金	4,267,196	8.0	8,884,335	12.6
未 払 法 人 税 等	725,700	1.4	1,333,400	1.9
未 払 消 費 税	3,250,400	6.1	2,241,500	3.2
預 り 金	-65,268	-	5,470	0.0
II 固 定 負 債	(12,172,928)	(22.7)	(15,034,478)	(21.4)
長 期 借 入 金	8,000,000	14.9	8,000,000	11.4
長 期 未 払 金	4,172,928	7.8	7,034,478	10.0
負 債 の 部 合 計	32,322,698	60.3	41,009,326	58.3
(純 資 産 の 部)				
I 株 主 資 本	(21,319,588)	(39.7)	(29,305,265)	(41.7)
1. 資 本 金	4,500,000	8.4	4,500,000	6.4
2. 資 本 剰 余 金	0	0.0	0	0.0
3. 利 益 剰 余 金	(16,819,588)	(31.4)	(24,805,265)	(35.3)
(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	(16,819,588)	(31.4)	(24,805,265)	(35.3)
繰 越 利 益 剰 余 金	16,819,588	31.4	24,805,265	35.3
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0	0.0	0	0.0
III 新 株 予 約 権	0	0.0	0	0.0
純 資 産 の 部 合 計	21,319,588	39.7	29,305,265	41.7
負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	53,642,286	100.0	70,314,591	100.0

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
I 売 上 高	(195,818,361)	(100.0)	(228,308,285)	(100.0)
業 務 委 託 料	181,626,061	92.8	204,085,414	89.4
商 品 売 上 高	11,661,760	6.0	19,933,588	8.7
ド ロ ー ン 事 業 売 上	2,530,540	1.3	4,289,283	1.9
II 売 上 原 価	(149,465,239)	(76.3)	(175,450,911)	(76.8)
期 首 た な 卸 高	226,974	0.1	316,716	0.1
商 品 仕 入 高	149,360,981	76.3	175,639,154	76.9
外 注 費	194,000	0.1	0	0.0
合 計	149,781,955	76.5	175,955,870	77.1
期 末 た な 卸 高	316,716	0.2	504,959	0.2
売 上 総 利 益	46,353,122	23.7	52,857,374	23.2
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	(41,837,014)	(21.4)	(44,354,347)	(19.4)
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	41,837,014	21.4	44,354,347	19.4
営 業 利 益	4,516,108	2.3	8,503,027	3.7
IV 営 業 外 収 益	(4,296,288)	(2.2)	(1,908,365)	(0.8)
受 取 利 息	131	0.0	255	0.0
貸 倒 引 当 金 戻 入	99,100	0.1	106,900	0.0
雑 収 入	4,197,057	2.1	1,801,210	0.8
V 営 業 外 費 用	(124,280)	(0.1)	(118,815)	(0.1)
支 払 利 息	17,380	0.0	-285	-
貸 倒 引 当 金 繰 入	106,900	0.1	119,100	0.1
経 常 利 益	8,688,116	4.4	10,292,577	4.5
VI 特 別 利 益	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
VII 特 別 損 失	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
税 引 前 当 期 純 利 益	8,688,116	4.4	10,292,577	4.5
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,947,700	1.0	2,306,900	1.0
当 期 純 利 益	6,740,416	3.4	7,985,677	3.5

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 3年 4月 1日から
令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
旅費	34,817	0.0	20,334	0.0
広告費	69,455	0.0	230,000	0.1
容器器	216,716	0.1	139,603	0.1
荷造	350,349	0.2	124,210	0.1
支払	163,870	0.1	178,046	0.1
販諸	5,203,596	2.7	2,443,756	1.1
役給	37,909	0.0	40,250	0.0
員料	6,000,000	3.1	6,000,000	2.6
従業	17,042,946	8.7	16,783,265	7.4
厚定	1,820,000	0.9	5,401,625	2.4
減価	3,881,276	2.0	4,641,593	2.0
リ代	130,490	0.1	385,407	0.2
地修	1,368,663	0.7	2,584,858	1.1
事通	45,600	0.0	45,600	0.0
水租	169,086	0.1	229,080	0.1
接保	112,000	0.1	59,636	0.0
備管	700,868	0.4	583,841	0.3
車研	530,055	0.3	506,330	0.2
雑合	176,363	0.1	349,092	0.2
	91,970	0.0	56,689	0.0
	82,053	0.0	51,069	0.0
	32,240	0.0	88,680	0.0
	2,722,477	1.4	1,709,251	0.7
	587,200	0.3	587,400	0.3
	147,568	0.1	179,877	0.1
	0	0.0	59,553	0.0
	119,447	0.1	875,302	0.4
合 計	41,837,014	21.4	44,354,347	19.4

棚卸資産の計算内訳

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
商貯	316,716	0.2	504,959	0.2
蔵	260,000	0.1	180,000	0.1
合 計	576,716	0.3	684,959	0.3

株主資本等変動計算書

(株) きつとすき

令和 3年 4月 1日から
令和 4年 3月 31日まで

	前 期 額 (円)	決 算 額 (円)
I 株 主 資 本		
1. 資 本 金		
当期首残高	4,500,000	4,500,000
当期変動額	0	0
当期末残高	4,500,000	4,500,000
2. 利 益 剰 余 金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	10,079,172	16,819,588
当期変動額		
当期純利益	6,740,416	7,985,677
当期末残高	16,819,588	24,805,265
その他利益剰余金合計		
当期首残高	10,079,172	16,819,588
当期変動額		
当期純利益	6,740,416	7,985,677
当期末残高	16,819,588	24,805,265
株 主 資 本 合 計		
当期首残高	14,579,172	21,319,588
当期変動額		
当期純利益	6,740,416	7,985,677
当期末残高	21,319,588	29,305,265
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
III 新 株 予 約 権		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
純 資 産 の 部 合 計		
当期首残高	14,579,172	21,319,588
当期変動額		
当期純利益	6,740,416	7,985,677
当期末残高	21,319,588	29,305,265

個別注記表

令和 3 年 4 月 1 日から
令和 4 年 3 月 31 日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 5,682,817円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 45株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、651,228.11円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、177,459.48円であります。

以上

